2016（平成28）年6月 発行【第3号】

元気 Genki!ぎふ

Gifu Project Network

特定非営利活動法人 ぎふ・プロジェクトネットワーク　公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会

情報誌 Vol.3
2016.06

岐阜県の行政から暮らしまで、役立つ情報が満載！
GIFU42 ぎふ42市町村ネットワーク
www.gifu42.net

ぎふの魅力をギュッと凝縮！元気なぎふの情報誌

（岐阜県関市由来の鍛冶の数々）

Contents

■〔巻頭企画〕 古田岐阜県知事インタビュー…04-09
■〔特別企画〕 伝統ブレークスルー…10-19
■次世代に誇れるつながりある東海の実現に向けて／公益社団法人日本青年会議所…20-23
■100年企業を目指し、未来への挑戦を続ける／昭和コンクリート工業グループ…26-29
■第70回レクリエーション大会in岐阜…24-25　■家族を守り、長く住める家づくり／クレドホーム…34-35
■「食の健康」をテーマにニーズに合った商品を開発／鵜舞屋…36-37　■岐阜県の「6次産業化」の推進を探る…44-45

■発行／特定非営利活動法人ぎふ・プロジェクトネットワーク
〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1丁目20番3号　Tel：058-237-6222　Fax：058-237-7509　E-Mail：info@gifu42.net　HP：www.gifu42.net

人々の命と健康を守り、人生に潤いを与える美容への貢献を目指して。 *All for Your Smile*

関工場
皆様の暮らしをサポートする、高品質製品の生産拠点。

日ノ出本部／総合研究所
新たな価値の創造。
皆様の暮らしをサポートします。

美濃工場
医療機器の厳格な国際品質規格をクリア。
世界トップシェアを誇る各種医療機器の生産拠点。

刃物の総合博物館
フェザーミュージアム
装いも新たに、平成28年3月
リニューアルオープン（入館無料）

フェザー安全剃刀株式会社
本　社／〒531-0075 大阪市北区大淀南3丁目3番70号
ホームページ http://www.feather.co.jp/
支店：東京／営業所：福岡・札幌／工場：関市・美濃市／研究所：関市
代表取締役会長 後藤 雄介
代表取締役社長 藤田 直人
代表取締役専務 岸田 英三

9001：メディカル以外
13485：メディカル

特定非営利活動法人ぎふ・プロジェクトネットワークは、「サイト運営」と「情報誌発行」のふたつの活動で、岐阜県の活性化に貢献しています。

1

■サイト運営

岐阜県の行政から暮らしまで、役立つ情報が満載！

「お気に入り」に入れて、岐阜県の情報をいつでもご覧ください。

www.gifu42.net

GIFU42 ぎふ42市町村ネットワーク

市町村長インタビュー

GIFU42 市町村 NETWORK

安八町 堀　正町長	池田町 岡崎 和夫町長	揖斐川町 宗宮 孝生町長	恵那市 可知 義明市長	大垣市 小川 敏市長	大野町 宇佐美 晃三町長	海津市 松永 清彦市長
各務原市 浅野 健司市長	笠松町 広江 正明町長	可児市 冨田 成輝市長	川辺町 佐藤 光宏町長	北方町 戸部 哲哉町長	岐南町 松原 秀安町長	岐阜市 細江 茂光市長
郡上市 日置 敏明市長	下呂市 服部 秀洋市長	神戸町 谷村 成基町長	坂祝町 南山 宗之町長	白川町 横家 敏昭町長	白川村 成原 茂村長	関市 尾関 健治市長
関ヶ原町 西脇 康世町長	高山市 國島 芳明市長	多治見市 古川 雅典市長	垂井町 中川 満也町長	土岐市 加藤 靖也市長	富加町 板津 德次町長	中津川市 青山 節児市長
羽島市 松井 聡市長	東白川村 今井 俊郎村長	飛騨市 都竹 淳也市長	七宗町 井戸 敬二町長	瑞浪市 水野 光二市長	瑞穂市 棚橋 敏明市長	御嵩町 渡辺 公夫町長
美濃市 武藤 鉄弘市長	美濃加茂市 藤井 浩人市長	本巣市 藤原 勉市長	八百津町 金子 政則町長	山県市 林 宏優市長	養老町 大橋 孝町長	輪之内町 木野 隆之町長

平成28年6月1日 現在

Contents

市町村長インタビュー

岐阜県下42市町村の全ての市町村長インタビューを掲載しています。

・市町村HPにリンク

・サポートメンバー(法人会員)の紹介

企画編集 / ぎふ清流ボイス

岐阜県の各界でご活躍の方やユニークな経営を行っている企業・組織の紹介をしています。

ぎふの新・見聞録

行政や法人会員企業のイベント、新規事業の立ち上げ情報、新製品の開発情報等の紹介をしています。

調べる・学ぶ・ぎふの市町村

岐阜県をもっと深く知りたい人のための様々な情報を紹介しています。

トップページ Genki!ぎふ 情報誌「Genki!(元気)ぎふ」アーカイブ から クリック

情報誌の既刊号(アーカイブ)をご覧いただけます。

2

■情報誌発行

ぎふの魅力をギュッと凝縮！元気なぎふの情報誌

Gifu Project Network 元気 Genki!ぎふ

《編集コンセプト》

①岐阜県の様々な地域資源のＰＲを推し進め、岐阜県の魅力の発信を推進することにより、人や地域・産業、企業等の活力につなげる。

②運営サイト「ぎふ42市町村ネットワーク」と連動し、幅広い人に見ていただくことにより、地域経済の活性化につなげる。

《広告出稿について》

情報誌「Genki!(元気)ぎふ」への広告掲載のご希望の方は下記までご連絡下さい。

【本部事務局】Tel：058-237-6222

《概要》

- 創刊号発行：2015(平成27)年5月
- 体裁：Ａ4版　48ページ(前後)　フルカラー
- 発行サイクル：年2回(予定)
- 配布先：岐阜県下42市町村(庁舎)
  県下の図書館をはじめ公共施設
  岐阜県庁、ふれあい福寿会館、県教育委員会
  商工会議所、商工会
  金融機関や医療機関(一部)
  首都圏企業(東京岐阜県人会会員企業)
  記事掲載団体、企業

私たちと共に岐阜県の地域活性化を進めませんか!?

特定非営利活動法人 **ぎふ・プロジェクトネットワーク ［法人会員］募集中！**

私たちの活動は、ご賛同をいただいている法人からの年会費により支えられています。岐阜県の地域資源を守り、育てていくことにより地域活性化に貢献を!とお考えの皆さまのご入会をお待ちしております。

【入会のお問い合わせ・お申込み】

本部事務局：Tel : 058-237-6222　E-Mail : info@gifu42.net

までご連絡下さい。

知事インタビュー

～岐阜から世界に名乗りをあげる　世界が岐阜を認める～

人口減少が急速に進む中、政府は「地方創生」の旗印を掲げ、地方の特色を生かした持続的な社会づくりを推進しています。岐阜県では、県の活力を維持するため、どのような取組みを行っているのか、古田肇岐阜県知事に伺いました。

【世界に向けて魅力を発信】

岐阜県では人口減少にどう挑んでいきますか。

古田　知事に就任した平成17年には、岐阜県に住む皆さんを「211万県民」と紹介していましたが、最近では「203万県民」と申し上げています。それほど本県でも急速に人口減少の波が押し寄せています。

人口減少問題は極めて困難な課題であり、すぐにすべてが解決するような特効薬的な施策はありません。出生率、出生数を増加させるためにあらゆる手立てを講じていくとともに、人口減少が進む現実を正面から受け止めた上で、持続的に地域の活力を生み出していくほかないのです。

当然、本格的な人口減少社会を迎えた国内マーケットは、将来的に縮小に向かうと見込まれます。そのため今後は、人口増加を背景に拡大傾向にある海外マーケットを中心に外需を取り込んでいく必要があり、県では、自らの魅力発信に当たって、積極的に世界に目を向けることとしています。“岐阜から世界に名乗りをあげ”、“世界に認められる”ことを目指して、世界に打って出ています。

【白川郷】

古田岐阜県

「清流の国ぎふ」の魅力を世界に

【連続する世界遺産の登録・認定】

世界に認められた具体的な成果を教えてください。

古田　このところ岐阜県では2つのラッシュが続いています。1つ目は、世界遺産への登録・認定ラッシュです。清らかな水に恵まれ「清流の国」と呼ばれる岐阜県には、豊かな自然や長く受け継がれてきた伝統文化、飛騨牛などの食材、木工や陶磁器、刃物、和紙などの生活に密着した製品など、「清流」に育まれた地域資源が数多くあります。県では、こうした地域資源を発掘し、磨き上げ、発信することに力を入れており、最近はその魅力が世界に認められるうれしい出来事が続いています。

平成7年にユネスコの世界文化遺産に登録された白川郷合掌造り集落は、日本の世界遺産の代表格として国内外で定着してきました。そして一昨年、日本最古の紙と言われる本美濃紙の手漉和紙技術がユネスコ無形文化遺産に登録され、約20年ぶりに本県に世界遺産が誕生しました。以降、岐阜県の地域資源が次々と世界遺産に登録・認定されているのです。

【曽代用水】

【清流長良川】

まず昨年10月には、美濃市と関市を流れる350年前にできた全長約17㎞の灌漑用水「曽代（そだい）用水」が、国際かんがい排水委員会の世界かんがい施設遺産に登録されました。

12月には、「清流長良川の鮎」が国連食糧農業機関（FAO、Food and Agriculture Organization）の世界農業遺産に認定されました。世界農業遺産は、伝統的な農法や農村文化・景観に手を加えることによって維持発展させていく「生きた遺産」とも呼ばれており、今回は長良川流域の"人の生活、水環境、漁業資源"が相互に関わる循環システムが評価されました。

川を対象に世界農業遺産に認定されたケースは今回が初めてで、FAOからは今後本県がアジア・アフリカなどの発展途上地域に清流の環境保全や内水面漁業（河川や湖沼などにおける漁業）の支援など、国際的な役割を果たしていくことが期待されています。

さらに今年11月には、高山祭・古川祭・大垣祭の「山・鉾・屋台行事」について、ユネスコ無形文化遺産への登録の可否が審査されます。また、映画「杉原千畝（ちうね）」が上映され、全国的に大変な注目が集まっている「命のビザ―杉原リスト」は、昨年9月にユネスコ世界記憶遺産の国内候補に選ばれ、いよいよ5月に正式申請を提出します。登録の可否は来年夏までに決定される予定です。

これら世界遺産への登録・認定は、まさに岐阜県の地域資源に世界が注目している確かな証しであり、岐阜県民の皆さんのふるさとへのさらなる自信と誇りにつながるのではないでしょうか。世界に認められるこれらの遺産は、過去から脈々と引き継がれた賜物であり、過去から現在、そして未来へとつながるものです。

大切に守り伝えてこられた先人の方々と、今それを守っていただいている県民の皆さんに心から感謝申し上げるとともに、次世代の子ども達にしっかりと引き継ぎたいと思います。

今後は、このように多様な世界遺産を個別に発信していくだけでなく、遺産群として束ね、広域的な観光や国際交流など広くPRしていきたいと考えています。

【杉原 千畝】

【古川祭】

【大垣祭】

【高山祭】

このため本年2月には、まずその母体となる「岐阜県『世界に誇る遺産』連合」を県と関係9市町村で設立しました。

また、他県も含めた連携も重要だと考えています。例えば、既に世界農業遺産の認定を受けている石川県の「能登の『里山里海』」と「清流長良川の鮎」の「里川」が連携し、「山・川・海」のつながりを国際的にアピールしていきます。また、「杉原リスト」のユダヤ人の方々が日本に上陸した福井県敦賀市と杉原千畝の生誕の地・八百津町など新たな観光ルートづくりも進めていきたいと思っています。

【増加する外国人宿泊者】

もう1つのラッシュについても教えてください。

古田　2つ目のラッシュは外国人観光客です。県では、世界を岐阜県の市場ととらえ、地域の魅力を海外市場へ直接紹介する「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を平成21年度から展開しています。

これは、私がいわば「岐阜県のセールスパーソン」として、高品質な観光・食・モノを三位一体で岐阜県ブランドとして売り込んでいくブランド戦略です。まずは、戦略の対象となる地域・国のオピニオンリーダーの方々に、岐阜県に来て「食」と「モノ」を体験してもらい、岐阜県ファンになってもらいたいと考えています。自己流を押し付けるのではなく、現地のオピニオンリーダーの目利きを大切にしながら、相手地域・国の現地目線で、本県の持ち味を伝えています。経済発展著しいアジア諸国と流行発信地であるヨーロッパを中心に、これまで合計9回にわたって積極的な売り込みや折衝を行い、着実に手応えを感じてきました。

プロジェクト開始前の平成20年に約19万人（※）だった本県の外国人宿泊客数は、平成27年には約92万人（速報値）にまで増加し、7年間で約5倍になりました。中でも、プロジェクト開始時から継続して取り組んできたタイは6倍、シンガポールは9倍に増え、一昨年から集中プロモーションを始めたフランスもほぼ倍増の1万人を突破

（※）9人以下の小規模宿泊施設は対象外

している。

また、トップセールスの成果は、県産農畜産物の筆頭格である飛騨牛の輸出量にも表れ、プロジェクト開始前の約58倍にまで増加しました。直近に訪問して飛騨牛フェアを開催したロンドンとパリでも、「ジューシーで柔らかい」「繊細でデリケートな味わいが素晴らしい」など絶賛され、現地の著名な雑誌に掲載されるなど、大きな注目を集めました。

今年度は、県産品の売り込みと海外誘客を一体的に実施する「海外戦略推進室」を新設し、ニューヨークへの上陸も狙います。これまでに得たノウハウをフル活用しながら、岐阜県の魅力を広くPRし、一層の成果にトライしていきます。

【美濃和紙あかりアート展】

【100年先を見据えた森林づくり】

世界に通用する岐阜県の魅力の源は「清流」とのことですが、清流は豊かな森林からもたらされています。その森林をどのように活用し守っていますか。

古田　岐阜県民の歌にも「岐阜は、木の国、山の国」と歌われるほど、「清流」を育む豊かな森林は、岐阜県らしさをアピールする生命線であります。一方で、林業の長期低迷が続き、適切な手入れがされず荒廃した森林が増えています。そのため、林業活動を中心とした「生きた森林づくり」と、環境を重視した「恵みの森林づくり」の両面から、貴重な森林を守る取組みを戦略的に進めています。生きた森林づくりでは、「植えて、育てて、伐って、利用する」という生業としての林業を重視しています。

1本の樹木は、住宅の柱や梁桁（はりけた）などに使われる「A材」と、小曲材（こまがりざい）などの「B材」、小径木（しょうけいぼく）などの「C・D材」に分けて利用されており、それぞれの出荷先の確保が求められていました。そのため、A材を利用する「大型製材工場」を郡上市に、B材を利用する「森の合板工場」を中津川市に、C・D材を利用する「木質バイオマス発電プラント」を瑞穂市に整備し、樹木を余すことなく利用する体制が整いました。

恵みの森林づくりでは、水源地域の保全と里山林の整備に力を入れています。水源地域の保全のためには、平成25年に「水源地域保全条例」を施行し、公共用に使われている水源地とその周辺区域内の土地取引を監視できるようにしました。また、住民の生活に密接にかかわる里山林を守るためには、人が継続して森に関わり、手入れを続けていくことが重要であるため、まずは県内5か所に「環境保全モデル林」を選定し地域と一体となって整備を進めています。

このような中、昨年10月には、「第39回全国育樹祭」を揖斐川町で開催し、約1年に亘る準備の過程で県民総参加の取組みを行いました。豊かな森林は、私たちの大切な宝ものであり、世代をつないで守り育てていかなければいけません。今回の育樹祭は県民の皆さんに森の恵みを再認識いただくきっかけになったのではないかと思います。今後も、世代をつないで末永く森林を守り続けるため、100年先を見据えた森林づくりを進めていきたいと思います。

【皇太子殿下には間伐を行っていただいた】
【大成功に終わった「第39回 全国育樹祭」】

【関市】刃物ミュージアム回廊

BREAK THROUGH

空き家リノベーション

TRADITION

刀 匠

堂上蜂屋柿

刃物ミュージアム回廊

伝統 ブレークスルー

伝統的な技術、伝統的な街並み、伝統的な味…。
伝統というと、つい守りの意識を連想しがちですが、
大切に受け継いでいかなければならないものがある一方で、
時には時代の変化に合わせた
大胆な発想で新しい魅力を追加し、
その価値を高めていくことも必要になります。
伝統を培ってきた魅力の根源を見つめなおしたうえで、
従来の枠にとらわれないアイデアを駆使して、
新たな価値を作り出す。関市、各務原市、美濃加茂市の
伝統ブレークスルーに迫ります。

参加プログラムも充実させ、滞在したくなるエリアづくり

アニメとのタイアップ、斬新なPV。切り口を変えて市をPR

関市と言えば、包丁、理髪用刃物、爪切りや栓抜きなどその他の利器工匠具で全国ナンバー1の出荷額を誇るなど、日本一の刃物のまちとして、自他ともに認めるところです。昨年は、市のPR動画「もしものハナシ」を公開。すでに再生数も23万回を超え、行政によるプロモーションビデオとしては、かなり斬新な切り口とあって、大きな反響を呼びました。市としてプロモーション活動には、かなり力を入れている印象があります。

尾関市長　日本一の刃物のまちとして、これまでも地道なPR活動を続けてきました。毎年10月に開催される「刃物まつり」には10数万人規模の来場者があって、大変な賑わいを見せますが、通年的に大勢の人が訪れる機会は多いとは言えません。あるいは若い方々に対する認知度が今一つ進んでいない印象もありました。そのため、平成25年度には、人気アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」とタイアップした「エヴァンゲリヲンと日本刀展」を開催するなど、従来とは異なる切り口で刃物をPRし、これまで当市を訪れることのなかった新しいお客様を呼び込む活動を展開しています。近年では、"刀剣女子"と呼ばれる若い女性が日本刀に興味を持ち始めたという新しい流れもあり、当市を訪れる方の中にも少しずつ変化が出始めています。

関市長
尾関 健治さん
（おぜき けんじ）

【関市】刃物ミュージアム回廊

〝刃物のまち〟にふさわしい顔 4つの中核拠点の連携がカギ

視点を変えたプロモーション活動を進める中、今度は新たに刃物ミュージアム回廊事業を進めています。日本一の刃物のまちといわれるだけに、刃物に関する施設も整っているわけですが、訪れた方をワクワクドキドキさせるほどのインパクトがあるかというと、正直難しいところかもしれません。その意味では、今回もこれまでには見られなかった新しい仕掛けに期待されるところです。

尾関市長　PR動画や企画展など、これまでにない情報発信ができていて、ソフト面については一定の成果が得られています。その一方で、受け入れ態勢はどうなのか。「刃物のまちと言われますが、刃物のまちらしさが感じられる場所はどこですか?」といったお客様からの声が聞かれるように、「刃物に関することは、ここへ行けばすべてわかります」と自信をもって言えないところが当市の弱い部分です。カミソリを中心に〝切る〟ことに焦点を当てた博物館「フェザーミュージアム」、包丁からナイフ、爪切り、彫刻刀など様々な刃物が購入できる「岐阜県刃物会館」、日本刀鍛錬も含めた刃物の歴史を見ることができる「関鍛冶伝承館」、関鍛冶の守護神としてまつられる「春日神社」。この4つのスポットは、それぞれに特徴があり、刃物への関心を深めてもらうポテンシャルがあります。これらの連携をいかに高めることができるかがカギになります。

新しいランドマークの誕生にワクワク 中核施設を一新し、まちの表情が変わる

これまでも、例えばフェザーミュージアムにはトイレ休憩も兼ねて、観光バスが立ち寄るケースがありました。ただし、時間的な制約もある中で、ほかのスポットまで足を運ぶ時間的余裕がなかったようです。それぞれの施設が、まさに回廊としてつながってくると、市内を観光する滞在時間も増えるでしょうし、刃物のまち・関市を訪れること自体が目的になってくるということでしょうね。

尾関市長　まずは点から線へ。その先は面的な広がりに結びつけていきたいと考えています。具体的な動きとしては、すでに3月には、フェザーミュージアムが刃物の総合博物館としてリニューアルオープンしました。体験型コーナーも多く常設され、さらに見ごたえのある施設に生まれ変わりました。岐阜県刃物会館も建て替えの予定で進めています。こちらは商品のディスプレイも古いスタイルですし、建物が老朽化してきたこともあり、新しく建て替えることになりました。建物を一新することにより、レイアウトやデザイン性も含めて高めることができると思います。新しいランドマークの誕生になると期待しているところです。

体験型プログラムを充実させて いつまでもいたくなるまちへ

中核施設が一新され、まちの表情も大きく変わることが予想されます。あとは、訪れた方にどれだけ楽しんでいただけるか、そして1度だけでなく、何度でも訪れたいと思えるような魅力ある場所としていかに高めていけるか。どのように賑わいを創出するかも大きなカギになりそうですね。

尾関市長　刃物ミュージアム回廊の計画区域としては、かなり広いエリアを想定していますので、全体の計画としては10年スパンぐらいを目途に進めていくつもりです。岐阜県刃物会館の建て替えに合わせて、まずは体験工房的な施設の整備は早めに取り掛かりたいと考えています。体験プログラムとしては、すでに市民活動団体が、刀匠の指導を受けながらマイ包丁を作るイベントを実施して好評を博しました。例えば、結婚するとき、包丁に奥様の銘を打った包丁をご主人が手づくりしてプレゼントしたら、ご夫婦にとって忘れられないステキな記念になると思います。そうしたプログラムに参加できる体験系施設をまずは充実させたいと思います。その後、飲食系の施設やイベント広場など徐々に拡充させていき、「刃物ミュージアム回廊がおススメです。何でも揃っていますよ」と、刃物のまちの顔として自信をもって紹介することのできるエリアにしていきたいと思います。

魅力的な拠点整備から市の活性化へつなげたい

昨年、岐阜県を訪れた外国人観光客は99万人と大きな伸びを見せていますが、その中で果たしてどれだけの人が関市へ足を運んでいるでしょうか。当市は、イギリスのシェフィールド、ドイツのゾーリンゲンと並び、世界三大刃物工業都市と呼ばれており、ポテンシャルは十分にあります。現在進めている刃物ミュージアム回廊整備事業には、インバウンドの取り込みにも大きな期待が寄せられています。

中核的な役割を担う、「フェザーミュージアム」「岐阜県刃物会館」「関鍛冶伝承館」「春日神社」は、いずれも歩いてそれほど遠くない距離にあり、これらを有機的につなぐことにより、地域としての魅力を高めることができると思います。エリア内に流れる関川には春になると桜が咲き誇り、心を和ませてくれます。最近、蛍の姿を見かけるようになったことをきっかけに、3年ほど前から商工会議所で関川桜及び蛍保存会を作り、景観形成にも力を入れているところです。刃物を中心に物産、温泉、歴史など当市の魅力を紹介する拠点として整備が進み、市の活性化につながることを期待しています。

関商工会議所　会頭
後藤 雄介さん

工芸や民族的行事など大切な日本文化が失われていく

ご自身が幼少のころから謡曲を習い、母や祖母が茶道を教えていたことで、様々な工芸、文化に興味があったことが、刀鍛冶を目指す1つのきっかけになったようですね。

福留 はい。高校時代に鍛冶屋さんを見学する機会がありました。私は福岡市出身で、福岡には博多包丁、博多鋏の鍛冶屋さんがいましたが、職人さんの大半が60歳以上でした。「20年、30年過ぎた時には、後継者がいなくなって途絶えてしまうのだろう」と身近で感じていました。その思いから、大切な日本文化を継承する工芸を仕事にしたいという気持ちが強くなりました。あれから10数年がたちました。博多包丁は現在も職人さんが70歳を過ぎて現役で頑張っておられますが、博多鋏は後継者がいなくなって閉じているのが現状です。

数ある工芸の中で、特に刀鍛冶に惹かれたのはどういう理由からだったのでしょうか?

福留 鉄は細いもの、薄いものでも容易に形が変わるものではないというイメージがあると思いますし、事実そうです。しかし実際に鍛冶作業を行うと温度を上げている間は、どのような形にも変えることができ、自在に作れるところにおもしろさを感じました。そして一旦冷えてしまえば固くなって、容易には形が変えられなくなります。また、刃物をはじめ、様々な構造物を作ることができる点にも興味を感じました。

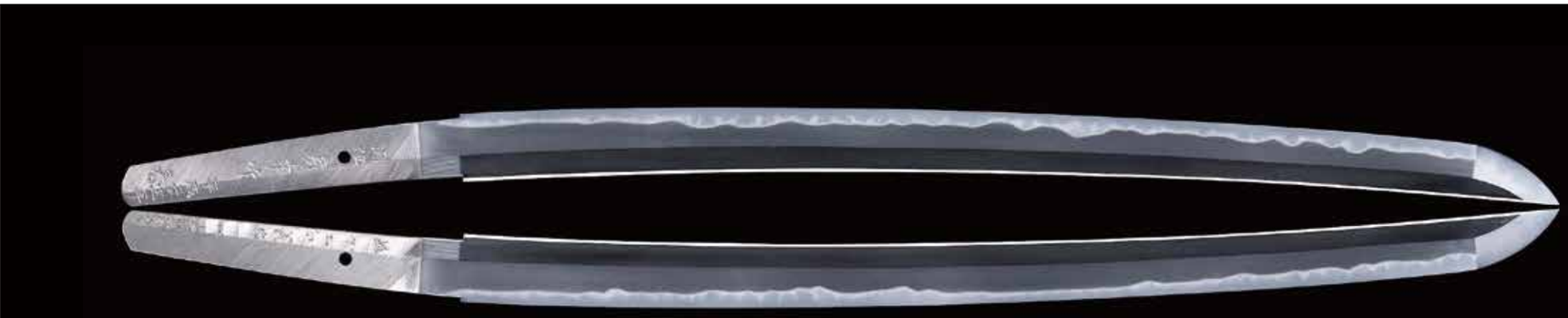
たくさんの人の思いを乗せて蛍丸を再現したい

復元する蛍丸については、どんな点に魅力を感じていますか?

福留 写真資料や押形が残るのみで、実物を目にすることはかなわないわけですが、記述を読む限りでは非常にすぐれた作品であったようです。素剣、梵字、護摩箸などがフルセットになって、繊細な彫刻が施された姿はまさに傑作だったそうです。

資金調達についてはクラウドファンディングを活用されたわけですが、その理由について教えてください。

福留 奉納する阿蘇神社のある阿蘇地域の皆さんをはじめ、多くの方々に参加してもらったうえで制作して奉納する形を取りたかったので、全国規模で集められるクラウドファンディングを利用することにしました。



■問い合わせ
福留房幸日本刀鍛錬場
http://swordsmith-fusayuki.com/

幻の名刀「蛍丸」伝説を現代によみがえらせる

関市で活動を続ける刀匠の福留房幸さんは、失われた名刀「蛍丸」を復元奉納することを企画しました。制作資金の調達にはクラウドファンディングを活用したところ、わずか5時間で目標の550万円をクリア。最終的には4,512万円に達し、現在は蛍丸伝説の復活に向けて忙しい日々を送っています。そんな若き刀匠、福留さんに刀鍛冶になったきっかけや今後の展開について伺ってみました。

シルバー世代が元気で、まちに活気が感じられる関市

現在、関市で刀鍛冶として活動を続けているわけですが、関市を選んだ理由は何だったのでしょうか?

福留 元々は刀鍛冶の国家試験が行われる岡山県に近い島根県でたくさんの刀鍛冶の方々に会う機会を得ました。いろんな意見を聞く中で、藤原兼房師匠がよいのではないかと勧められたことから、関市で弟子入りすることを決めました。

弟子としての期間は何年ぐらいでしたか?

福留 6年半、師匠の下で弟子としてたくさんのことを学ばせていただきました。最初の3年ぐらいは、炭切りなど作業の準備や掃除など下働きです。ひたすらわからないことばかりで、4年目ぐらいにようやく流れがつかめてきました。作業ですから口で言われてもさっぱり理解できません。言葉でいえば、炉の中に入れて、だいたい1,400度ぐらいまで温度を上げて、叩けばいい。これだけです(笑)。折り紙を折るのと同じで、やり方を見せてもらって、自分でやってみて、何度も失敗して、ようやく一人でできるようになります。

福岡市出身の福留さんの目から関市はどのように映りましたか?

福留 これほど刃物屋さんが多いのは、ほかの地域にはない特徴です。島根も少し似た雰囲気がありましたが、島根は農業が主で、まちの中が静かです。関市はそこかしこで工作機械音が響きます。子どもも多くて活気が感じられます。あとは、年配の方が元気ですね。福岡だと50歳後半から60歳前半にはリタイアする人が多いのですが、関市では60歳以上でも現役バリバリで活躍している人がとても多い印象です。

目標は、豊かな心持ちになってもらえる刀を作ること

最後に、今後の目標について聞かせてください。

福留 そもそも刀は武器ですが、歴史的に見ると、権威的な象徴、つまり家、一族、地域を守るための象徴だったと思います。そこに美術性や芸術性を加えられて現代まで残っていると思います。武器という実用的な利器の延長としての価値しか見いだされなければ、戦闘がなくなった時点で、ほかの美術工芸に切り替わったと思います。江戸時代に入るころには茶道も流行しましたから、なくなってしまったとしても不思議はありません。それでも残ったのは、美術的な価値観が先行していたというよりは、権威象徴的な思いを乗せて作られていたからだと思います。現代で、刀を大切にされている方でも、日々鑑賞しているケースは稀だと思います。先祖代々大事に持っていたから、今でもきれいにして受け継いでいますというのが多くのケースだと思います。芸術に加えて、人や地域のつながりを守る象徴であったという根本的な価値が本質として流れているのだと思います。

皆さんの心のよりどころとなるようなものとして、豊かな心持ちを感じていただけるような刀を作っていくことが私の目標です。

熊本、大分における群発地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。阿蘇神社も重要文化財を含めた多数の建物が甚大な被害を受け、修復を目指して募金を行っています。詳細は阿蘇神社へお問い合わせ下さい。
阿蘇神社Facebook アドレス
https://www.facebook.com/asojinjya

【各務原市】空き家リノベーションモデル事業

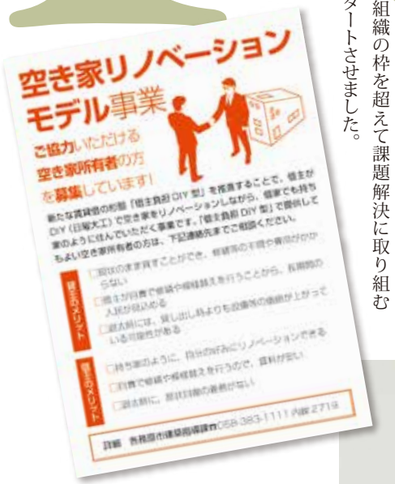
RENOVATION

空き家リノベーションでまちを活性化

若手技術者の取り込みと空き家対策組織の枠を超えて課題解決に取り組む

かくれんぼや鬼ごっこ、家の周囲すべてが遊び場で、元気に走り回る子どもたちの声が賑やかに響き渡る風景。かつては当たり前のように感じていたまちの表情を見ることが少なくなってきました。全国的に人口減少が進む中で、ふと周囲を見渡してみると、隣向こうがいつの間にか空き家になっていたりします。

各務原市は、東西に鉄道の駅が15を数え、大型のショッピングセンターも立地している人口約15万人の中都市です。航空機、自動車産業を中心にものづくりのまちとして、有効求人倍率は約3倍にも上ります。優れた人材を呼び込むため、魅力的な暮らしができるまちであることをアピールするシティプロモーション活動に力を入れていた企画政策課の廣瀬真一さんは一方で、市内で増えつつある空き家の問題にも着目しました。移住・定住と空き家問題を同時に解決するため、建築指導課の平野理奈さんに相談。組織の枠を超えて課題解決に取り組むチャレンジをスタートさせました。



建築指導課
平野理奈さん

企画政策課
廣瀬真一さん

将来を考えて家は残しておきたいが、できれば利活用したいという声に着目

2人が中心になってスタートしたのが「各務原市空き家リノベーションモデル事業」です。国の住宅・土地統計調査によると、市内には約2,500戸の空き家があります。「空き家といっても、様々な要因があるわけですが、息子さんが就職で大都市に行き、そのまま就職先の土地で家を建てます。その後、親御さんが亡くなられて空き家になっているというケースも多くあります。息子さんは固定資産税を払う一方で、空き家のことも気にされています。年に何度かは里帰りして、庭の手入れや空気の入れ替え、郵便物の確認などをしています。将来住む可能性を残して空き家になっていますが、利活用できるものならしてみたいという回答も意外に多かったことから、そこに着目しました」と廣瀬さんは語ります。

貸し手は、固定資産税を賄うことができて、維持管理してもらえるメリットがあります。一方、借り手は、比較的安価な家賃で一軒家に暮らしながら、DIYで自由に改装をすることができます。廣瀬さんが「2間付きの和室を自分流にリビングにするなど、セルフリノベーションを行うことで、借り手の愛着も増すでしょう」と語るように、DIYに興味を持つ若い方を入居のターゲット層にしています。

肝は産官学金の連携にある

「この事業の肝は、産官学金の連携にあります」。廣瀬さんの言葉が示す通り、そもそも本当に利活用できる建物であるか、民間の建築事務所がジャッジ。建築系の学部を持つ大学と連携し、借り手の希望に合わせたリノベーションのプランを提案します。また、借り手はDIYにかかる費用を無担保で借りることができるよう、県内の金融機関が融資メニューを新設することも決まり、若い人でも安心してお値打ちに借りることができる新しい住宅ストックとしての期待も高まります。

市内には約2,500戸の空き家

耐震化が進むきっかけになる

廣瀬さんから新事業立ち上げの相談を受けた平野さんは、「構想を聞かされて、住宅政策的にも1つのきっかけになると思いました。空き家になっている建物は新耐震基準と昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準に大別されます。市内には、まだ旧耐震基準の住宅が多いため、耐震ローラー大作戦と名付けて、耐震化の普及・啓発活動を進めていますが、空き家は、そもそも人が住んでいないわけですから、訪ねても答えが返ってきません。表の道路が緊急避難道路になっていて、空き家が倒れることで道をふさいでしまう可能性もあります。その意味では、借り手がついて、人が住むことで維持管理が図られます。あるいは、所有者の方も『家賃が入ることになるから、耐震してみよう』と考えるきっかけになるかもしれません。各家を訪ねてみると、大きな家で一人暮らしをされている方々とお目にかかりました。将来を考えると大変な時代になるのではないかと感じます。目先のことでなく、10年先の各務原を見据えた政策でもあるし、今あるものを大切な地域資源として活用していく、よい手法になると考えています」とチームの一員になった思いを語ってくれました。

モデル事業の先に狙うは民間・主導の新しいビジネスモデル

商店街の空き店舗対策などは全国的にも数多くの例を見ることができますが、空き家対策を住宅政策として行政が主体となって取り組むのは全国的にもほとんど例を見ない新しいチャレンジです。「貸す側にとっては、どんな人が借り手になるのかは気になるところでしょうし、不安要素も大きいと思います。そのマッチングが重要なポイントとなります。手間がかかる分、契約が決まれば信頼関係も長く続くと思います。そうした過程もWEB上で公開するなど見える化していきたいです。ほかにもDIYのワークショップなども開催し、どんどん情報発信していきたいと考えています」と、廣瀬さんは今後の展開について語ってくれました。

DIYをキーワードに借り手と貸し手のマッチングを図りながら空き家の解消を狙う「各務原市空き家リノベーションモデル事業」。産官学金の連携の中で、新たな金融商品も生まれるモデル事業は終了後、民間主導による運営を目指しています。現代の課題に真正面から取り組み、将来的には民間ベースの新しいビジネスモデルを目指すチャレンジ。若手行政マンの奮闘に大きな期待が寄せられます。

【美濃加茂市】堂上蜂屋柿

美濃加茂 堂上蜂屋柿

製品として出荷はできないが、味は変わらない加工品としてのよい活用法はないものか

幕府や朝廷に献上され、千年以上の歴史を持つ「堂上蜂屋柿」。信長、秀吉、家康など時の権力者にも愛された堂上蜂屋柿は、美濃加茂市を代表する特産品の1つです。一つひとつ手作業で皮むきし、"手もみ"、"ニオボウキがけ"など独自の製法で作られるだけに高級なものは1個約1,000円で販売されていましたが、ここ数年は、市や関係者によるブランド戦略も功を奏し、1個約1,500円で販売されるものも登場し、その価値はさらに高まっています。

皮むきから陰干し、天日干しなど、堂上蜂屋柿ができるまでには天候もカギを握ります。長年の経験と細心の注意を払った徹底した管理で工程を進めていきますが、追熟という、甘みをさらに増すための期間に柔らかくなりすぎて、製品として出荷できない柿が出てくることがあります。堂上蜂屋柿振興会会長の三輪宣彦さんは、「昨年は、特に高温が続いて、11月なのに真夏のような日がありました。1日でカビが生えてダメにしてしまった生産者もいて、管理の難しさを改めて痛感しました。私の場合、1シーズンで約2,000個の柿を作りますが、そのうち使えるのは1,500個ほどです。残りは規格外として、市民祭りで販売したり、泣く泣く廃棄するケースもあります。味的にはそん色ないのですが、見た目がよくないばかりに、丹精込めて育ててきた柿を使うことができないのは、なんともったいない。何かよい活用方法はないものか思案していました」と語ります。

▲堂上蜂屋柿鮎菓子

伝統の甘味を刻んで現代版スイーツに

加茂農林高校
生物工学・食品科学科
プロジェクトチーム
白井和稀君

堂上蜂屋柿振興会
会長
三輪宣彦さん

岐阜の特産品同士がコラボ 上品な甘さが加わって付加価値が倍増

そんな中、昨年12月、和菓子店「緑水庵」が「堂上蜂屋柿鮎菓子」を販売しました。価格は1個250円と、通常の鮎菓子の2倍以上の設定でしたが、好調な売れ行きを見せました。その開発には、地元・加茂農林高校生物工学・食品科学科のプロジェクトチームが携わりました。メンバーの1人である白井和稀君は、「皮むきからすべて手剥きですから、かなりの重労働であることを知りました。水分が多いので、カビがつかないか毎日ヒヤヒヤしながら見守ったものです。製品の良しあしが天候に左右されるだけに、管理も気が抜けませんでした。堂上蜂屋柿ならではの上品な甘さが加わって、完成したときは喜びもひとしおでした」と振り返ってくれました。

自然な甘さをやさしくプラスしてスイーツやジャムなど様々な加工食品に

市と民間業者、高校が一体になった産官学による加工品の開発は、ここ数年活発化し、鮎菓子以外にもフィナンシェ、パウンドケーキ、アイスクリームなど堂上蜂屋柿を使った新商品が開発されています。

「一番の食べ方は、やっぱり干し柿のまま食べてもらうことですよ」と語る三輪さんですが、「製造の過程でどうしても規格外のものは出てきてしまいます。加工品として有効活用してもらって、堂上蜂屋柿が新しい切り口でたくさんのお客様に届くことは私たちも期待しているところです。手ごろな加工品で堂上蜂屋柿をまず知っていただいて、次は堂上蜂屋柿そのものを召し上がっていただいて、そのおいしさを再認識していただければ、こんなにうれしいことはありません」と、堂上蜂屋柿のさらなる普及拡大に期待を込めています。

「子どものころから祖母が干し柿を作っていて、冬の楽しみになっていたことを記憶していて、干し柿はとても身近な存在でした。ふるさとに堂上蜂屋柿という伝統と歴史ある素晴らしい伝統の商品があるわけですから、もっと多くの人に食べてもらいたいという気持ちが強いです。堂上蜂屋柿鮎菓子が、そのきっかけになることができたら、これほど誇りに思えることはありませんし、様々な素材とコラボできそうですし、新しい食べ方の提案もできそうな気がします。ふるさとの誇りをより多くの人に知ってもらうために、これからも関わっていくことができたらと思います」と白井君。伝統の技術と製法で受け継がれてきた極上の甘みは、現代にマッチしたスイーツやジャムなど可能性の輪を広げながら、より味わい深いものとして磨かれていきます。

▲堂上蜂屋柿と栗きんとんがコラボした創作高級和菓子「濃蜜果喜」

▲堂上蜂屋柿フィナンシェ

公益社団法人 **日本青年会議所**

次世代に誇れる つながりある 東海の実現に向けて

明るい豊かな社会の実現に向け、青年経済人が集い活動する公益社団法人日本青年会議所（日本ＪＣ）。社会の若きリーダーとして、日頃どのような活動を展開しているのか、東海地区担当常任理事の前田創史さんとトップランナー委員会委員長の西岡徹人さんに伺ってみました。

東海地区担当常任理事
前田創史さん

トップランナー委員会委員長
西岡徹人さん

〝今の自分を変えたい〟〝どのようにステップアップしていけばよいのか〟

まず初めに、お二人がＪＣに入ったきっかけについて教えてください。

■**前田**　私が所属先の各務原ＪＣに入会したのは２００９年です。経営する企業の売り上げが伸び悩み、これからどうやってステップアップしていけばよいのか頭を悩ませていました。そんな折、すでに各務原ＪＣの会員になっていた中学時代の同級生に誘われたことがきっかけです。ＪＣについては、「加入すると忙しくなって大変だ」という話を以前から少し耳にしたことがありましたが、実際加入してみると、委員会活動は人間形成の面で大いに役立ちましたし、様々なスキルを身につけることもできて、他地域の公開例会にも進んで参加するほど、ＪＣ活動に対する取り組みの熱が上がっていきました。

■**西岡**　私が現在の所属先である岐阜ＪＣに入会したのは２００８年でした。知人に誘われたのがきっかけでしたが、当初は社会活動が目的というよりは、仕事に何らかのプラスが得られるのではないかという気持ちの方が強かったように思います。何よりも今の自分を変えたいという気持ちが一番のきっかけでした。

自分の姿勢に共感してもらわないと人は動かない

ＪＣの活動をする中で、初めから何かもうまくいくはずはなくて、やはり失敗を通じて様々なことを学んできたということですね。

■**前田**　はい。東日本大震災の年、各務原市桜まつりの桜観覧船事業で私は責任者でした。例年４，０００人ほどの乗船がありましたが、その年は自粛ムードの影響もあり、１，８００人ほどしか集まりませんでした。その時、自分の姿勢に共感してもらわないと人は動かないものだと痛感しました。トップダウンでやれる部分とやれない部分があることを明確に理解できたきっかけになりました。一つひとつ段階を踏んだり、役職を経験することで見えてくるものがあると思います。

■**西岡**　例えば事業を開催して、人数の目標を達成したとしても、本当の目的を達成できたことにはなりません。集客は様々な手法を駆使することで達成可能な場合がありますが、事業を開催した、その先にどんなことが得られたのか。本当の目的を達成できたかどうか、しっかり検証する必要があります。ちょっと乱暴な言い方かもしれませんが、事業だけを成立させるなら委員長のマンパワーでできてしまうこともあります。周りの人をすべて巻き込まなくても、自分の得意な分野を使うことで、事業を成立させることもできるでしょう。しかし、それは事業の成功にはなるかもしれませんが、自分の成長には決してつながることはありません。価値観や判断基準、友好関係、広報の仕方など様々なことをＪＣの中で学ぶことにより、自分の器を広げていく。それを会社に持ち帰って落とし込んでいく。私もＪＣで多くのことを学ぶ機会を得ることができたので、入会前に比べると企業規模を大きく拡大させることができました。

器の小ささに気づくことで〝ＪＣスイッチ〟が入る

前田さんは、比較的早い段階でＪＣ活動でのやりがいを感じたようですが、お二人がＪＣ活動に本腰を入れるようになったエピソードなどがあれば、紹介してください。

■**前田**　大きなきっかけになったのは、日本ＪＣ第58代会頭である安里繁信さんの講演を聞いた時です。今や大変ご活躍されている安里さんですが、様々な苦労を乗り越えて現在に至っています。その生き様を生で聞いたことで、大きな共感を覚えました。「地域のために何かやらなければいけない。ＪＣ活動に、本気になって取り組もう」と思わせてくれた貴重な機会になりました。おかげで、ＪＣで学んだことを活かしながら、新たなお店もいくつかオープンさせることができました。

■**西岡**　私に〝ＪＣスイッチ〟が本当の意味で入ったのは２０１２年です。岐阜ＪＣで初めて青少年心身育成委員会の委員長を任されました。ところがメンバーの顔を見ても、誰一人楽しそうではないし、幸せそうに見えません。会社の中を見渡してみても、つまらなそうな顔をしている社員ばかりです。家に帰って、妻の顔を見てもつまらなそうにしていました。鏡を見たら、自分も本当につまらなそうな顔をしていました。当時、私には自分一人でそれなりに企業を大きくしてきた自負もありました。でも、つまらなそうな表情をしている周囲を見て、「周りの人を誰一人幸せにできない自分は何だろうか」と考えさせられました。ＪＣの委員長を務めることで、初めて自分の器の小さに気づくことができました。

青少年心身育成委員会活動の中盤あたりまでは、みんなつまらなそうな表情で活動を続けていました。でも事業を開催して、子どもたちが心の底から見せる笑顔を見てくれた時、初めてメンバーの表情も変わりました。「自分たちがやってきたことは間違いではなかった」という、ひとつの証明がされたことでメンバーの表情も変わったのだと思います。私もその時に、人を認めること、喜ばせることが大事なのだと改めて気づくことができました。

人生が大きく変わった

自国を誇れる国家観と おもいやりの心を持つ 青年の育成

6月に「とうかい号」、7月に東海フォーラム2016を実施

最後に本年度実施する活動内容について教えてください。

■前田　本年度、東海地区協議会の基本方針は「次世代に誇れるつながりある東海の実現」に定めました。基本方針の下、「本会の事業・運動の推進」「自国を誇れる国家観とおもいやりの心を持つ青年の育成」「多様な価値観を受け止められるリーダーを創出する事業の実施」「優れた判断力と知識やスキルを身に付ける事業の実施」「地域資源を活かした、つながりある東海ブランドの確立」「防災ネットワークの拡充・強化、初動体制の整備」「〝未来へつなぐプロジェクト～音楽のちから～〟の推進」「JCカップ U－11少年少女サッカー全国大会の実施」という8つの事業計画に基づき、様々な事業を展開していきます。

■西岡　「自国を誇れる国家観とおもいやりの心を持つ青年の育成」を実現するための具体的な活動として、青年の船「とうかい号」を実施します。20歳から35歳までの一般の方が約400名、サポーターとしてJCメンバー約200名が乗船する8日間の洋上研修で、第43回を数える今回は、台湾・高雄を寄港地に6月5日～12日の行程で開催されます。自己と対峙し、新たな自分を見つけ出す研修は意義深く、「人生が大きく変わった」という参加者からの声も多数寄せられています。

■前田　「〝未来へつなぐプロジェクト～音楽のちから～〟の推進」の具体的な活動としては、日本JCが、東日本大震災復興支援ソング「未来へつなぐメッセージ」を作り、歌手May J.さんにも参加していただいています。すでに15,000ダウンロードを超え、多くの方に歌い継がれていますが、震災を風化させないためにも本年度は100万ダウンロードに向けて取り組んでいきます。

■西岡　「多様な価値観を受け止められるリーダーを創出する事業の実施」の具体的な活動としては、東海フォーラム2016の開催を7月に予定しています。昨年開催された東海フォーラム2015には静岡県富士市の「ふじさんめっせ」を会場に、一般市民約4,000人、JCメンバー約2,000人が集い、東海4県の特産品が集結したブースやたくさんの体験コーナーが人気を集め、市民と青年経済人がふれあったり、多くの気づきと学びの機会に出会える素晴らしい事業になりました。本年度は岐阜メモリアルセンターでの開催を予定しています。ぜひ多くの皆様にご来場いただければと思います。

■問い合わせ
公益社団法人　日本青年会議所
事務局　東京都千代田区平河町2-14-3
TEL：03-3234-5601（代）
http://www.jaycee.or.jp

岐阜県で初開催 全42市町村で開催

第70回 清流に 楽しさ 笑顔 夢いっぱい 全国レクリエーション大会 in 岐阜

平成28年 9月23日(金)～25日(日)

「第70回全国レクリエーション大会in岐阜」を9月23日(金)から25日(日)の3日間、全市町村にて岐阜県で初めて開催します。この大会は種目大会や研究フォーラム、体験イベントといった様々なレクリエーションのプログラムが行われ、延べ10万人以上の参加を目指しております。「種目大会」は38種目あり、全市町村にて行われます。予選や資格などはなく、ほとんどの種目がどなたでも参加することができます。順位は決まりますが、体を動かすことや交流することを目的に行うので、初心者の方でも気軽に参加できます。「研究フォーラム」も同時に開催し、講義、セミナー、ワークショップなど盛りだくさんの内容が行われます。全国から岐阜まで、多種多様な講師による、健康づくりや生きがいづくりに役立つ情報が発信されます。

そして岐阜大会では、総合開会式や交歓の夕べ(交流会)も盛大に開催する予定です。岐阜県らしさを感じられる式典やおもてなしで皆さんをお迎えします。応援大使の佐藤弘道さん、勅使川原郁恵さん、PRジュニア大使の39名も来場し、会場を盛り上げてくれます。そのほか、「清流の国ぎふ」を体験できるレクリエーション体験広場や協賛行事など、レクリエーションや岐阜県を体験してもらう企画を多数予定しています。また、事前に配布する開催募集要項などで岐阜県の観光名所や特産品などを観る・味わう・感じることができる着地型の観光コースの紹介なども予定しています。

応援大使
佐藤 弘道さん

応援大使
勅使川原 郁恵さん

PRジュニア大使の皆さん

研究フォーラムの一会場

種目別全国交流大会(グラウンド・ゴルフ)

地域づくりや健康づくりがさらに活発になることを望んで

H27.6.1　実行委員会設立総会の様子
右から、古田肇知事(名誉会長)、岐阜県レクリエーション協会渡邉丈展会長、日本レクリエーション協会浅野祥三常務理事

レクリエーションは、「こころ」と「からだ」を元気にしてくれます。岐阜県では現在、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象にレクリエーションの普及活動が積極的に行われています。

この大会がきっかけとなり、大会終了後も、地域づくりや健康づくりがさらに活発になることを望んでいます。

大会への参加申込は、6月に配布予定の「参加募集要項」よりできます。全国はもちろん県内の多くの皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

大会公式ポスター

第70回全国レクリエーション大会in岐阜 実行委員会事務局
■岐阜県　清流の国推進部　全国レクリエーション大会推進事務局
岐阜市薮田南２-1-1　TEL:058-272-8764
■特定非営利活動法人　岐阜県レクリエーション協会
岐阜市長良福光大野2675番地28　岐阜メモリアルセンター内
TEL:058-295-7257

県民の心をひとつに ── 本大会の成功に向けて

第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜
渡邉　丈展 実行委員会会長

この大会は、70年の長きにわたる伝統と歴史があり、個々の生活にレクリエーションの楽しさや素晴らしさを伝えるとても重要な大会であります。私は今、この大会を引き継ぐことの責任の重大さを痛感しております。

昨年6月1日に実行委員会を設立し、古田肇岐阜県知事に名誉会長としてご就任いただき、県内全ての市町村長にも委員にご就任いただくなど、岐阜県が一丸となって大会を盛り上げる体制を整えております。また県内企業の皆さまからも多くのご支援をいただき、大会成功に向けた準備も着々と進められております。

本大会の最大の魅力は、心と心、人と人がふれあいを感じ、全国の人々と交流を深めることができることです。

さらに岐阜県では、本大会前より子どもから大人まで、また親子や障がい者の方も気軽に参加でき、健康になれる楽しいイベントを計画中です。その1つである啓発キャラバンでは、全42市町村とともにスポーツ・レクリエーションの素晴らしさを県民へ伝えていきたいと思います。

いつの時代も、次の時代を担う若者たちの活躍が、街づくりや人づくりの根幹であり、本大会でも若い人たちのエネルギーが必要です。大いに参加していただくことによって、今後さらに「レクリエーションの楽しさと笑顔」を、しっかりと伝え繋いでいくことができるのではないでしょうか。

9月の本大会に向けて、日々多くの皆さまから絆をいただき、大会責任者として大会成功へと邁進していきます。

100年企業を目指し、未来への挑戦を続ける

昭和コンクリート工業株式会社

岐阜市に本社を構える老舗コンクリートメーカーである昭和コンクリート工業株式会社は平成28年２月11日に創業60周年を迎えました。

現在、昭和コンクリート工業の取締役社長を務めるのは3代目の村瀬大一郎さん。関連会社5社を持つグループ企業の代表として卓越したリーダーシップを発揮しています。2代目社長で、現会長の恒治さんは、本業の充実に取り組む一方、社業を支えてくれる地域社会への感謝を忘れず、各種役職を務めたり、積極的な地域貢献活動を行っています。60周年を迎えた今回、昭和コンクリート工業グループを率いる村瀬大一郎社長とグループ企業の責任者3名に登場していただき、お話を伺いました。

60周年を迎えた総合コンクリートメーカー

代表取締役社長 村瀬 大一郎さん

会長 村瀬 恒治さん

昭和コンクリート工業の歴史について教えてください。

村瀬　当社の設立は昭和31年で、今年はちょうど60周年を迎えました。事業内容は一般土木から建築まで社会インフラの整備にかかわる事業を全国で展開する総合コンクリートメーカーです。岐阜県の皆さんにも馴染み深いところでは、岐阜シティ・タワー43や東海北陸自動車道の鷲見橋などを手掛けていますが、毎日のように目にするコンクリート製品によって、身近なところで皆さんの快適な暮らしを支えています。

シナジー効果により全国で活躍

昭和コンクリート工業グループについて教えてください。

村瀬　昭和産業㈱、昭和運輸㈱、昭和商事㈱、ショーワトラベルサービス、昭和造園土木㈱、㈱コンクリートテクノコンサルをグループ企業に持ち、コングロマリット経営によるシナジー効果で活躍の場は多方面に広がっています。その中でも、昭和商事、ショーワトラベルサービス、昭和造園土木は、岐阜県の優れた資源を発信したり、特産物に磨きをかける事業も展開し、地域に愛される企業を目指しています。

初心を忘れず、あるべき姿を目指す

60周年を迎えての抱負をお聞かせください。

村瀬　60周年を迎えられるのも、先人が知恵を絞り、いくつもの困難を乗り越えてきたからこそです。また、社員をはじめ、お客様、協力会社、金融機関などすべてのステークホルダー様のおかげです。60周年のスローガンとしては"原点回帰"を掲げて、全社員に徹底しています。原点回帰とは全社員が創業の精神に立ち返り、初心を忘れずにあるべき姿を目指していくことです。例えば、東日本大震災、関東・東北豪雨、熊本地震などの災害から皆さんの生命や財産を守ったり、北海道新幹線やリニア中央新幹線の建設により快適な生活を作り出すことなどです。基本に還り、グループの強みを生かすことで未来を創っていきたいと思います。

【会社概要】

本社所在地	岐阜県岐阜市香蘭1丁目1番地
連絡先	TEL：058-255-3333・FAX：058-255-3330
ホームページ	http://www.showa-con.co.jp
創業	昭和29年7月10日（西暦1954年）
設立	昭和31年2月11日（西暦1956年）
資本金	1億円
従業員数	661名（グループ全体875名）（※平成28年3月1日現在）
売上高	単体：230億円・グループ連結：280億円（※平成27年3月期）

昭和商事株式会社

岐阜県岐阜市香蘭1-1　TEL：058-255-3345
http://www.showa-con.co.jp/shoji/

永年培ったノウハウと商社機能で地元に貢献

常務取締役 五島 博美さん

35年前に将来の発展を予見して中国に進出

昭和商事の歴史を簡単に紹介してください。

五島　当社は親会社のコンクリート資材の調達窓口として昭和44年に設立し、セメント、砂利、鉄筋などを全国の工場に供給してきました。海外との関係は昭和56年に貿易部門を設立し中国との貿易をスタート。昭和58年には北京に駐在員事務所を開設し、その後南京事務所、日中合弁第一号のホテル「杭州友好飯店」のオープンと次々に中国進出を推し進めてきました。また、ほぼ同じ時期にスリランカで合弁の生コン工場も設立稼動し、生コン車の輸出なども手がけました。現在コンクリートの資材調達部門は親会社に移管され、貿易と旅行の2部門で事業を展開していますが、過去から蓄積された海外ビジネスのノウハウは無形の財産として受け継がれています。

お客様の声に耳を傾け、より愛される価値とサービスを提供

現在はどんな分野に力を入れているのですか？

五島　現在は輸出事業に力を入れています。通常の輸出業務に加え世界最大級のアリババマッチングサイトと契約し、地元岐阜のはちみつ、木材、桝、刃物、しょう油、サプリメント、着物、手造り無添加ジャム等の製品を広く海外に紹介しています。

反応はいかがですか？

五島　海外のアリババユーザーからの問い合わせは確実に増えています。「メイドインジャパン」というブランド力は海外のユーザーにとってインパクトが非常に大きいと思います。自社の製品を海外に販売したいという希望をお持ちの方は大変多いのですが、言葉、商習慣、代金回収、貿易実務などを心配され一歩を踏み出せないでいます。当社を活用して頂ければ心配されている、ほとんどのことは解決します。海外ユーザーの情報もしっかりお伝えし一緒に販路拡大をしていきたいと考えています。

中国との関係は継続。その次はASEANにも展開

商品の魅力をいかに引き出して発信するかが海外販売につながるということですね。

五島　海外の方から見ると、日本人の私たちが身近で当たり前だと思っている、さりげない日用品もデザインが洗練され機能的にも優れ、すばらしいアイデアがいっぱい含まれているとすごく喜んでもらえます。当社の旅行部門のショーワトラベルサービスは今、海外からの観光客に岐阜を訪れて頂く営業をしていますが、岐阜に案内した時に直接商品を手に取ってもらい体感してもらう、あるいは試食して味わってもらう機会・場を作りたいと考えています。そこから大きなビジネスにつながる可能性もありますので、まずは海外に向けて積極的に情報を発信していくことが重要だと思います。

今後の海外展開の方向性について教えて下さい。

五島　今後については35年来の長きにわたり付き合ってきた中国との輸出入、投資、人的交流面で関係をさらに強化していきますが、新たにベトナムをはじめASEAN諸国や中国同様に数十年来のお付合いがあるスリランカともビジネス関係を構築し、当社及びグループ各社のグローバルネットワークを広げていきたいと考えています。

ショーワトラベルサービス

岐阜県岐阜市香蘭1-1　TEL：058-255-3367
http://www.showa-con.co.jp/shoji/

アジアからのインバウンドを県内に呼び込む

営業業務課課長
北川 多美子さん

"まちの旅行屋さん"として地域に根差したサービス

ショーワトラベルサービスの歴史を簡単に紹介してください。

北川　昭和61年に中国・杭州初の日中合弁ホテルである杭州友好飯店をオープンさせました。ホテルという受け皿を出資して作ったこともあり、自社でトラベル部門を持とうということで、昭和商事内のトラベル部門として昭和60年に設立されました。"まちの旅行屋さん"をコンセプトに、地域に根差したサービスを提供しています。一方で、旅行業はライセンス制で、当社は海外の募集型企画旅行を含めた旅行契約を取り扱うことができる第一種の認定を受けています。インハウス（企業内旅行代理店）で第一種に登録されているところは稀なケースで、誇りにできる部分でもあります。

細やかな心配りで団体旅行の取り扱いに高い実績

現在の主な業務内容について教えてください。

北川　団体旅行の取扱が62％、海外格安航空券の販売と個人旅行の取扱が38％というのが現在の売上構成です。団体旅行については、創業当初から30年近くにわたりご利用いただいているお客様が数多くあり、感謝するとともに、長くご愛顧いただける旅行会社を目指しています。

今後はどのような展開をお考えですか？

北川　今後はアジアからのインバウンド獲得に力を入れていきたいと考えています。昨年7月に県の訪問団の一員として、ベトナムとフィリピンを訪問し、商談会に参加させていただいた成果が、最近見積依頼も届くようになり、手ごたえを感じつつあります。

ニュースレターやFBで積極的に情報発信

企画内容は岐阜県の紹介が中心になるのですか？

北川　初めて日本を訪れる方も多いので、岐阜県だけで企画するのはなかなか難しいです。東京・大阪、富士山はやはり欠かせません。その中で、県内では白川郷や高山をセットにしています。ただ、県内には優れた観光資源がたくさんありますから、2度目、3度目の旅行者に向けては、美濃和紙や関の刃物、郡上八幡の食品サンプルをはじめ紹介したいものがたくさんあります。毎月、海外にニュースレターを配信していますし、2月からはフェイスブックもスタートさせ、積極的に情報発信をしています。

今後のターゲットとしてはアジアを想定しているのですか？

北川　ベトナム人の社員を2名採用し、ベトナムに力を入れ、県と歩調を合わせながら、さらにマレーシア、インドネシア、タイなど伸びているところを主体に取り組みを進めていきたいと考えています。

昭和造園土木株式会社

岐阜県岐阜市雛倉794-1　TEL：058-239-9245
http://www.showa-con.co.jp/zoen/

企画力、対応力、技術力の高さを武器に3本柱の業務展開

常務取締役
日比 真一さん

駐車場の芝生が枯れない「タフグリーン」

昭和造園土木が展開する業務について教えてください。

日比　当社は3つの柱で業務を展開しています。1つ目は個人や公共施設の設計・施工・管理業務。2つ目は指定管理業務。3つ目は環境関連商品の製造販売と施工です。1つ目については、JR岐阜駅前整備工事や北方町120周年記念公園整備工事など様々な業務を手掛けていますが、最近は自社開発した「タフグリーン」の普及に力を入れています。芝生の駐車場の芝生が枯れて土になっている姿を街で見かけることがあります。これは従来の樹脂製保護材の厚さが7.5㎝しかなく芝生の生育が悪かったことに起因するケースが見られました。そこで当社では芝生が育つのに必要な土の厚さ15㎝を確保した樹脂製保護材を開発。すでに1万㎡の実績を超え、地球温暖化対策にも寄与しています。

地域の利用者の皆さんに愛される施設づくり

2つ目はいかがですか？

日比　2つ目については、現在、「岐阜市畜産センター公園」「岐阜市北西部運動公園」「岐阜県百年公園」を管理・運営しています。畜産センターについてはHACCP農場の認証を受けたり、ドッグランを開設。0歳のお子様から楽しめるぴよぴよコンサートは毎回満席になるほどの盛況ぶりです。百年公園でも昨年、公園で拾ったどんぐりや枯れた蔓などを使ったクリスマスリースづくりを実施し、大好評でした。

自然と共生する環境商品を独自で開発

3つ目についても教えてください。

日比　3つ目については、4年ほど前に開発した、剪定枝に土と自然素材をブレンドして開発した防草用クレイチップの普及に力を入れています。道路法面に施工することで高い防草効果を発揮するほか、柔らかな見た目と畜水力により、夏はため込んだ水分を放出し、ヒートアイランドを抑制。お子さんたちが遊ぶ園路でも利用されています。岐阜県のリサイクル認定も受けた環境商品クレイチップは、すでに1万㎡近い実績を誇っています。

豊富な実践経験から来る対応力が信頼を集める

3本柱を中心にした業務を展開するうえで、昭和造園土木の強みをどんなところに感じていますか？

日比　豊富な実践経験に裏打ちされた企画力、対応力、技術力の高さは当社にとって大きな強みになっています。新入社員には、秋の剪定にも行ってもらいますし、一通り木にふれさせる教育をしています。十分に実践を積ませたうえで、監督業を行ってもらいますから、社員の対応力には自負があります。築庭を実施する際、あらかじめ図面は用意されますが、現場に植えていく花や樹木は自然物です。図面上で指示されている花や樹木を植えるのが本当に適正かどうか見極めることで美しい景を形作ることができるのです。

村瀬社長をはじめ、3人の責任者の方から各事業に対する力強いメッセージを語っていただきました。最後になりますが、今後ますますの発展成長を期待しています。ありがとうございました。

岐阜県図書館を使い尽くす！

「岐阜のひとづくり、ものづくり、まちづくりを支えます」

岐阜県図書館の運営方針（平成26年度～平成30年度）

岐阜県図書館は、2015年、新館開館20周年を迎え、**「情報共有・発信型図書館」**としてリニューアルを進めています。
100万冊の蔵書、15万点を超える地図資料があり県の中核図書館として、県内市町村図書館を支援する同図書館のサービスや利用方法をご紹介します。

【 ご利用方法 】

一例をご紹介します

1 社会人１年目の若者

社会人優先席を活用

私は、大学生の頃、レポート作成のために県図書館に通っていました。資料や本の多さが魅力でした。また、息抜きや単に本が読みたいなと思った時には町の図書館を、調べ物やレポート作成時には県図書館と、使い分けていました。就職した今では、仕事に関した会計関係の本を探すようになり、改めて専門書の豊富さがよく分かりました。仕事帰りに寄りますので、夜8時まで開館しているのもありがたいです。

1階／閲覧室社会人優先席

2 70代男性

郷土レファレンスを活用

私は、長年地元の神社の掃除をしていますが、神社の由来は知らないままでした。ふと気になり、県図書館の2階の郷土カウンターで司書さんに調べることができるかと聞いてみると、いろいろな本を出してきてくれ、ついには江戸時代にまで遡り、由来がわかりました。長年の疑問が解けて、すっきりしました。２階には、岐阜県に関した本がたくさんあるのですね。驚きました。

2階／郷土カウンター（第３カウンター）

3 20代主婦

託児サービスを活用

私は、これまでも図書館を使っていましたが、赤ちゃんが生まれたので、しばらくは行けないなと思っていました。けれども、県図書館に託児サービスがあることを知って、早速利用しました。保育士等の免許をもってみえる方が預かってくださり、とても安心しました。育児関連の本が集めてある子育てコーナーで、ゆっくり離乳食や子どもの病気についての本を探せました。

1階／おはなし室（託児の風景）

4 女性会社員

児童レファレンスを活用

昔父親に買ってもらった絵本で失くしてしまったものがあり、題名も忘れてしまいました。もう二度と出会えないのかとあきらめていましたが、児童カウンターで司書さんに記憶をたどりながらたずねてみると、「きっと、これですね」と書庫から出して来てくれました。あやふやな記憶の断片から本を見つけてくれるなんて、感激しました。インターネットではきっと探せなかったと思います。司書さん、ありがとう。

1階／児童コーナー

5 自営業

デザイン情報を活用

家業の工務店で、広告を作ることになりました。印刷業者にお願いすることも考えましたが、少しくらいは自分でもわからなければと、ネットを検索していると、気になるデザインの本を見つけました。しかし、値段が高く手が出ません。その本が県図書館にあることを知った時はうれしかったです。その本以外にも、高そうな本や、難しそうな専門書がたくさんありました。デザインの事例や解説をたくさん見ることができ、大変参考になりました。

豊富な専門書

【 様々なサービス 】

レファレンスサービス

探し物は、なんですか？ しらべものおてつだいいたします

図書館司書が、皆さんの調査、研究に必要な本の紹介をしたり、本を探すお手伝いをしたりするサービスです。
インターネットでは、検索キーワードが曖昧なものであれば、欲しい情報にたどりつかないことも。司書は対話の中から、利用者が欲している情報を探り出していきます。対話だからこそたどりつける情報がここにはあります。

距離や時間を短縮

遠隔地返却サービス

返却時にご来館いただかなくても、岐阜県図書館で借りられた本を、**西濃・中濃・可茂・東濃・飛騨地区の図書館で返却できます。**
（一部できない図書館もあります）

相互貸借サービス

お近くの図書館にお探しの図書がない場合、**全国の図書館から所蔵している図書館を探して、そこから借りて利用することができます。**
（相手館の事情により借りられない場合もあります）

利用状況照会サービス（Myライブラリサービス）

「Myライブラリ」とは お一人お一人がご自宅で、県図書館内の端末で、行うことができる、利用状況照会サービスです。次のサービスがあります。

1 貸出中の本や資料に予約をすることができます。
2 今借りている本や資料について何が何冊（いくつ）あるのかが分かります。
3 あらかじめ設定したキーワードに合致する新着図書をメールでお知らせします。
など

部屋貸出サービス

行政研究室

調査研究のため、図書館の資料を使ってグループ討論やグループ学習などをするときに利用できる部屋が２室あります。

GIFU PREFECTURAL LIBRARY
岐阜県図書館

岐阜の
ひとづくり
ものづくり
まちづくり
を支えます

平成28年1月24日、新館開館20周年を迎えた県図書館の名誉館長に、俳優の紺野美沙子さんが就任いたしました。

就任あいさつに臨む名誉館長

〒500-8368 岐阜市宇佐 4-2-1
TEL. 058-275-5111 FAX. 058-275-5115
http://www.library.pref.gifu.lg.jp/
library@library.pref.gifu.jp

【休館日】
月曜日（祝日の場合は翌日）毎月最終金曜日

【開館時間】
平日／午前 10 時～午後 8 時
土日祝／午前 10 時～午後 6 時

逆転のワンパンチKOで見事、初防衛に成功
次戦はライトフライ級で2階級制覇に向けて挑戦

昨年5月、岐阜県多治見市出身の田中恒成選手は日本最速となるプロ5戦目でWBO世界ミニマム級王座の奪取に成功。そして大みそかには、見事なボディーブローで6回KOに下し、初防衛に成功しました。激闘を終えた現在の状況や今後の展望について、SOUL BOX畑中ボクシングジムを訪ねて、田中チャンピオン、畑中会長に伺ってみました。

田中恒成

World Champion

KOパンチは会長直伝のレバーブロー

——まず、初防衛戦を振り返ってください。テレビ観戦していましたが、5ラウンドにはダウンを喫して、正直ハラハラして見ていました。

田中 僕もハラハラでした（笑）。ダウンは気づいたら倒れていたという感じでした。生まれて初めてのダウンでしたから正直焦りもありましたが、立った時、そこまでのダメージは感じませんでした。まだイケると思って、そこからは比較的落ち着いてできたと思います。

——逆に6ラウンドは見事にダウンを奪い返して、鮮やかなKO勝ちになりました。相手はボディーが効いていたのですか？

田中 嫌がってはいましたね。ポイント的には一方的でしたが、4ラウンドぐらいからいい雰囲気になりつつありました。5ラウンドも、いい感じで進めていましたが、ダウンをもらって振出しに戻りました。6ラウンドはボディーを嫌がっていたのと同時に、相手は有利な状況でしたから、手数がとても多かったです。力を込めたパンチもたくさん繰り出してきていて、息遣いも多少落ちてきていました。ポイント的にはヤバかったのですが、まだまだ巻き返せるという思いはありました。

——ダウンを奪ったのは、見事なレバーブローでしたが、手ごたえはありましたか？

田中 ありました。ただ、あの1発で終わるとは思いませんでした。右アッパー、左ボディーのコンビネーションで倒したのですが、あのコンビネーションは会長直伝です。ジムに入って間もない頃、相手がいなくて会長にスパーリングの相手をしてもらったのですが、見事に倒されました。

畑中 恒成が小学生だった頃の話ですけどね（笑）。

畑中 試合中もハラハラしましたが、実際は試合前からウェイト面で厳しかった部分はあります。正直言うと、軽量後は点滴だけ。食事をまったく受け付けず、手足もしびれていたというので、コンディション的には相当きついと感じていました。

田中 試合以前に、コンディション作りに問題がありました。でも、自己責任ですから、それも含めて実力はまだまだだと思い知らされました。

——点滴だけで十分な栄養も補給できない中でのワンパンチKO。しかも、ダウンを挽回しての逆転KOですから、並外れた精神力とパンチ力ですね。

田中 いや、結果がよかっただけで、内容的にはまったく褒められた話ではないです。

ライトフライ級も通過点。将来の目標は5階級制覇

——やはり減量が相当きついようで、今回、タイトルを返上して、ライトフライ級に階級を上げましたが、普段の体重は何kgぐらいなのでしょうか？

畑中 ミニマムはさすがに限界ですね。ただ、ライトフライも1年ちょっとの話でしょう。

田中 普段の体重は58kgぐらいです。ライトフライでも、減量はキツいと思います。

点滴のみで挑んだ試合。今後も続く減量との闘い

——結果的にはワンパンチでの鮮烈なKO防衛でしたが、試合前に描いていたプラン通りの試合運びにはならなかった部分もあったのでしょうか？

——58kgからミニマムだと47・62kg以下、ライトフライでも48・98kg以下。引き続いて10kg近い減量は想像をはるかに超える厳しさがあります。

畑中 適正体重も探っているところですが、まだ体は大きくなっています。デビュー当時は普段53kgぐらいでしたが、本人がフィジカルトレーニングにも精力的に取り組んで、一回り大きな体を作りました。

田中 はっきりいうと、ボクシングは試合に向けてコンディションが悪くなっていくスポーツです。悪くなりながらも、軽量が終わってご飯を食べて、どこまでよい状態に回復できるかです。ミニマムでは、それが明らかに無理です。現時点ではフライ級くらいがいいのかもしれませんが、キャリアも浅いですから、1つずつ階級を上げて、将来は5階級を目指したいと思います。

——5階級とはすごい目標ですね。夢の実現に向けた今後の挑戦をこれからも応援し続けていきたいと思います。

畑中 成長を見ながらでないとわからない部分はありますが、順番にコレクトしていくと、5階級ぐらい行くと思いますよ。恒成は中部のボクシング界を10年近くは引っ張ってもらわないといけない存在ですから。

田中 不可能に近いですけどね（笑）。実際は、2階級もそんなに甘いものではないです。

最強より最高と言われるボクサーに

——試合後のインタビューや様々な祝勝会など、実に堂々とした受け答え、話し方が印象的ですが、緊張するということはないのですか？

田中 ないです。試合直後のインタビューは、僕の時間ですから。ただ、試合が決まってから試合開始のゴングが鳴る瞬間までは緊張します。緊張というより恐怖の方が多いですね。ボクシングは殴られるスポーツですが、殴られることへの恐怖はないです。ただ1発のパンチですべてが崩れ去るのがボクシングです。負けた時のことを考えると、その恐怖は大きいです。

——その意味では、無敗のまま引退が理想ですか？

田中 そんな究極的なことを考えたことはありません。最強より最高といわれるボクサーになりたいです。ただ、「この試合に負けても次の試合がある」というボクサーにはなりません。「この試合で負けたら終わりだ」という気持ちで常に臨みます。結果負けたとして、悩んで、苦しんで、「この試合しかなかったのに」と思ったボクサーにしか、次は残されていません。目の前の試合しか見ていないです。

——ありがとうございました。ライトフライ級に階級を上げて、さらなる成長を遂げた田中選手の戦いぶりに期待しています。

※平成28年5月28日にライトフライ級でのノンタイトル戦が名古屋国際会議場で行われました。

SOUL BOX畑中ボクシングジム
名古屋市北区上飯田西町2-30-2
TEL／052-911-2169（17:00〜21:00）

田中恒成後援会事務局
春日井市神領町3-3-7　㈱ジップ内
TEL／0568-37-2063（9:00〜17:00）

地震に強い家づくりの時代へ。

地震に強い家、JWOOD工法。【耐震等級3（最高等級）】

極めてやせが少なく寸法安定性に優れたハイスペック構造材「JWOOD LVL」使用。

木材の最大の敵は『やせ』です。JWOODは製造時の含水率は8～10%であり、上棟時にほぼ平衡含水率に近づいたJWOODはやせることがほとんどありません。これにより、外壁のクラック・クロスの切れ・巾木と床の隙間・建具の開閉トラブルなどが大幅に減少し、また、構造躯体の接合部などの金物のゆるみがないので安心して生活できます。

credo home
N.Sunshow Co.,Ltd.
×
WOODONE
ONE'S CUBO
1,500 Selection

トレーサビリティ（履歴情報の追跡）

私たちは植林、伐採、製材、加工、出荷までJWOOD LVLに関わる全ての工程を一貫して行っています。それら植林から出荷に至る一連の情報（履歴）は、1本1本の材に印字された14桁の数字によって記録・保管されます。JWOOD LVLは全ての材料について、いつどこで作られ、加工された材料なのか説明することができます。材料のトレーサビリティが厳しい品質管理を可能にし、安心・安全な材料のご提供を実現しています。

金物接合で木材の欠損が大幅削減。専用金物による高強度を実現。

在来木造住宅の弱点とされる柱・梁の接合部を強化しました。在来工法の仕口や継ぎ手に比べ、木材の欠損を大幅に少なくすることで、接合部の強化を実現し、職人の腕によって接合部の強弱がでない施工品質の均一化も可能としました。

JWOOD EXは、劣化対策にも抜群の性能を発揮。

JWOOD EX材は、芯まで防腐防蟻処理剤が注入されており、住宅で特に耐久性能を求められる土台・大引、1階外周柱等に使用することで、耐久性に優れた住まいを実現します。

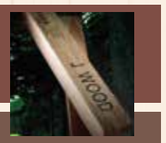
耐久性の野外杭試験（3年経過）

JWOOD EXはAQ2種（JAS K3相当）の防腐防蟻処理剤を注入。75～90年の耐用年数を誇る品質です。

PICK UP HOUSE クレドホームのイチオシハウス

ONE'S CUBO 1,500 SELECTION こだわりの6つのポイント

01 こだわりぬいた構造材と独自の設計手法で耐震等級3を確保。



02 2020年基準品質クリア。長く快適に安心して住める高性能な家。

03 木造軸組構造では困難とされていた大空間を実現!

04 住まい方に合わせて選べる間取り。後間仕切り壁で間取り変更可能。

05 木の温もりを肌で感じる本物の素材感。

06 無垢素材で大人気「WOODONE」の設備が標準装備。

credo home N.Sunshow Co.,Ltd.
N.SUNSHOW 株式会社
岐阜県羽島郡岐南町上印食 8-123-1 フォーカスポーカス 9
TEL.058-214-9558 FAX.058-214-9568
営業時間 10:00 ～ 18:00 定休日 火曜日・水曜日
info@credo-r.jp
http://www.credo-r.jp
credo home 検索

2020年基準品質クリア住宅

長期優良住宅 / 認定低炭素住宅 / 省令準耐火 / 耐震等級 3（最高等級）

ONE'S CUBO 1,500 SELECTION

クレドホーム

家族を守り、長く住める家づくり。

家を建てる土地や建物に愛着が湧き、長く住み心地の良い暮らしとなるようお客様に DIY をおすすめしています。

CREDO HOME

東日本初!

私たちの家が完成しました!!

1 キッチンの壁を漆喰にしたい。ということで漆喰施工開始！

2 奥様の盛り板を持つ後ろ姿が職人っぽくてカッコイイ！

3 漆喰施工完了！出来た～!!

お引き渡し

私達、結婚式を挙げてないんですよ ...
そんなお話からお引渡しの時に、結婚式を挙げましょう！！
ということで、結婚式も挙げちゃいました！！

新居が結婚式場に早変わり!!
小道具は全て手作りで、とても和やかムードの結婚式でした♪

普段とは違う、新郎新婦姿が新鮮でとても素敵でした!

みんなで記念写真!
みんなの笑顔最高ー!!

お客様より♪

雑貨屋さん?! と思ってクレドショップに来店したことがきっかけで、家を建てることになり、素敵なお家が完成しました！関係者の皆様、ご苦労様でした!!
そして、本当にありがとうございました!!

DIY

クレドホームでは手作りの優しさ、温もりを大切に考えており、お客様自身で行う家づくりやリフォームをおすすめしています。DIY教室も定期的に開催し、毎回多くの方にご参加いただいております。

CREDO SHOP

クレドショップでは、ハンドメイド作家さん達の可愛い作品の販売や暮らしに役立つ講座も企画しています。店内にはキッズスペースも設けており、店内は和やかな雰囲気に包まれています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

クレドホームの家づくりについて伺いました。

羽島郡岐南町のフォーカスポーカス内に家づくりのためのショールームと、作家さんの手作り雑貨を販売するクレドショップを構えたクレドホーム。「お客様とともに喜びと感動を創る」をビジョンとし、常にお客様の「想い」をカタチとして表現することを大切にしています。
クレドホームだからこそできる家づくり。それはお客様とともに理想の住まいに向かって歩む事なのかもしれません。
私たちとお客様で創ってきた個性豊かな住まいにあいにきてください。たくさんの事例集とともにショールームでお待ちしております。

代表取締役 西岡 徹人

ホームページ

LINE ID：credohome

SUNSHOW グループ
http://www.sunshow.jp
http://www.yume-house.com

関市・岐阜市で ONE'S CUBO 建設中。ご見学、お問い合わせ随時承ります。

「食の健康」をテーマにニーズに合った商品を開発

江戸時代に東京・佃島で製造されたことに由来するといわれる、つくだ煮。当初は保存食として普及し、日本の食卓には欠かせない食べ物として身近な存在でしたが、近年は食生活の変化もあり、消費量が減少しています。そんな中でも、明治10年の創業以来、"完全手造り"にこだわり、「美味しいモノを創る」という変わらない姿勢で多くのファンを魅了し続けているのが株式会社鵜舞屋です。つくだ煮の未来、会社の今後の展望などについて髙森幹啓代表取締役社長に伺ってみました。

つくだ煮＝ご飯ではない新しい食べ方の提案

つくだ煮の消費量が落ちている中で、鵜舞屋は好業績を維持しています。何か他社と違った取り組みをされているのですか？

髙森　長年のお客様に支えられているのが大きいと思います。ただ、危機感は大きいです。若い層がつくだ煮離れをしているといわれる中、ニーズに合った商品を開発していく必要があると思います。主食が米以外のパンやパスタなど多様化を見せる中で、"つくだ煮はご飯に乗せて食べるものです"という凝り固まった考え方を見直す必要があります。「パスタに乗せてもアクセントになりますよ」「サラダに合わせると味に変化が出ますよ」「肉に乗せれば、和テイストの肉料理ができます」といった食べ方の提案をしていきたいと考えています。

つくだ煮＝ご飯という旧来の考え方からいかに抜け出すか。そこに可能性があるというわけですね。

髙森　はい。例えば、居酒屋に行くとメニューの中に漬物の盛り合わせはありますが、つくだ煮はありません。若い方も漬物は食べているわけです。つくだ煮もメニューにあれば、「あれっ？ つくだ煮ってこんなにおいしかったんだ」とわかってもらえるはずなのですが、残念ながらそのシーンがありません。様々なシーンでつくだ煮を食べていただける活動もしていかなければなりません。

可能性の幅を広げることで大切な日本の食文化を守る

食べ方にも新しい提案が必要になるということですね。

髙森　はい。伝統に固執するあまり、発想の柔軟性に欠けていた面があると思います。海外展開を視野に入れる中で、ベトナムを訪問しました。そもそも、つくだ煮という食文化がない中で、つくだ煮はご飯に乗せて食べるものですと一方的にアピールしても、売れるはずがありません。改めて国内販売を振り返ってみると、「つくだ煮とは、こういうものです」といって売りつけていた部分が、どこかにあったのかもしれません。現代のニーズに合っていない部分は変えていく必要があります。

ひとつの方向性として、食の健康にとことんこだわった商品を開発していきたいです。グルテンフリー、アンチエイジングなどいろいろなキーワードがありますが、砂糖、塩、しょうゆなどの調味料の段階まで一度戻ってみる。調味料にも様々な種類があります。食の健康をテーマにした商品開発はすでに試作段階に入っています。必要とされるものをしっかり作ることができれば、つくだ煮業界は今後アップトレンドになるはずだと自信を持っています。つくだ煮は日本のひとつの食文化です。日本人にとって大事なものを守っていかなければなりません。ずっと受け継がれてきた大切な食文化を次の世代に伝えていくことは、私たちにとって大きな使命だと考えています。

代表取締役社長
髙森 幹啓さん

【問い合わせ】
株式会社　鵜舞屋
岐阜市東鶉1丁目1番地
TEL.058-274-0141（代）
フリーダイヤル.0120-35-1545
http://www.umaiya.co.jp

就労支援でつながったA型事業所は今や大切なパートナーに

日本の食文化を守ることとともに、鵜舞屋は地域に根差した企業として、地域とのつながりも大切にされていますね。

髙森　創業以来長い年月にわたって商売を続けてくることができたのは、ひとえに岐阜県の皆様のおかげです。地域に支えられてきた私たちがやっていかなければならないこととして、就労継続支援事業A型に取り組んでいます。取り組みを始めてまだ1年ほどですが、よい出会いの輪が広がって現在は4カ所の事業所にお世話になっています。

作業内容はどんなことですか？

髙森　商品の箱詰めです。正直、最初は半信半疑な気持ちもありました。でも障がい者の方たちは丁寧でスピードの速い作業をして頂けます。他の仕事を入れられると困るので、仕事を切らさないように、こちらがあおられているほどです（笑）。

とてもしっかりした仕事をしてくれて、今ではなくてはならない大切なパートナーです。パートナーですから、もちろん賃金も一般の内職をされている方々と同じです。

技術を身につけてもらい、将来は自立した暮らしを

それほどの存在になるということは、これまで人手不足を感じていたということですか？

髙森　はい。共働きが増えて、内職をやる人が減って、人員の確保が難しいと感じた時期もありましたが、働ける人員は、まだたくさんいますし、その仕事をやりたいと思っている方々がいます。また、事業所の方からは「ここがゴールではないですから。目指すところは企業に雇ってもらえるようにすることです」と言われました。今後は昆布巻きができる人も育てていきたいと思います。そうなれば、当社で雇い入れすることも可能になってきます。今後、県内でも就労継続支援事業A型に取り組む企業が少しでも増えることを期待しています。

情報科学芸術大学院大学
Institute of Advanced Media Arts and Sciences

IAMAS

2015年4月に大垣市のソフトピアジャパン地区に移転した情報科学芸術大学院大学（通称IAMAS）。今年で創立20周年を迎えたIAMASは、早くから地域との連携を意識した活動を行っています。知る人ぞ知る、情報科学芸術大学院大学の取組について、吉田茂樹学長や在校生にお話を伺いました。

吉田茂樹 学長

IAMASとはどんな学校でしょうか。

吉田 「先端的技術と芸術的創造の融合」を掲げ、新たな表現者を育成する岐阜県立の大学院大学です。英語表示のInstitute of Advanced Media Arts and Sciencesの頭文字をとってIAMAS（イアマス）と呼んでいます。4年制の学部を持たない大学院のみの大学で、メディア表現研究科一学科を設置しています。

芸術から情報技術まで幅広い分野の教員が在籍しており、学生は様々な領域を横断する形で指導を受けながら、修士号の修得を目指します。これまでにメディアアートやデザイン、ものづくりなどの分野などで世界的に活躍する人材を輩出しています。

学生はどんな研究をしているのですか？

吉田 ITを用いた作品づくりを通じて、新たな芸術表現手法を研究したり、デザイン的手法を用いてものづくりや地域活性化につなげるような研究を行うなど、非常に幅広い研究を行っています。特定の分野を深く掘り下げるというよりは、様々な分野を掛け合わせることで新たに生み出される価値を見出す点に本学の特徴があります。

どのような方がIAMASの門をくぐられるのですか？

吉田 芸術系や理工系の大学から進学する場合が多いですね。また、社会人を経験されてから入学される方が毎年3～4割程度を占めます。出身地は首都圏をはじめ全国に渡っており、都会から若者を呼べる学校である点はひそかな誇りですね。

ここにしかない、極めてユニークな学校ということですね。では修了後の進路はどうでしょう。

吉田 主に教育機関や文化施設、IT企業、デザイン関係の会社に就職しますが、就職ではなく起業したり作家になる人も多いですね。最近は地元に残って活動する卒業生が増えてきていますよ。

このところ大学は地方創生の拠点としての役割を求められるようになりました。

吉田 本学は県立の大学である点を踏まえ、「産業文化研究センター」を設置して早くから地元企業や地域コミュニティとの連携活動を行っています。

また、本学の教育の特徴として「プロジェクト」という履修科目があります。これは社会に接し、実践活動を通じて研究を行う科目であるため、活動フィールドは学外となる場合が多く、必然的に地域との連携が生まれます。

どんなプロジェクトがありますか？

吉田 例えば「根尾コ・クリエイション」では、本巣市役所のご協力を得て、旧根尾村内に拠点を構え、地域の方々と共同して新たな産業文化を生み出す仕組みを研究しています。

「福祉の技術プロジェクト」では、県内の特別支援学校や障がい福祉サービス事業所などと連携し、教育現場や障がいを持つ方が抱える問題について、情報技術やデザイン的発想を用いて解決方法を研究しています。

また、樽見鉄道や長良川鉄道と連携し、列車内を表現空間として捉えて、DJや音楽にあわせて踊る空間「クラブ」を列車内に出現させたり、一般の乗客が楽しめるインタラクションアートを設置する「メディア・地域・鉄道プロジェクト」なんてプロジェクトもあるんですよ。このほかにも様々なプロジェクトが地域の企業や行政、コミュニティと連携しながら進められています。

IAMASが今後の目指す方向を教えてください。

吉田 これからも各自が専門性を持ちながら他の領域への理解を深める研究や連携活動をさらに幅広く推し進めます。地域や社会の中の活動もより活発化させ、これまでにない領域での教育研究の形を社会に示して、新しい文化や社会を創造していきたいですね。

【お問い合わせ】
情報科学芸術大学院大学［IAMAS］事務局
岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地7
電話 0584-75-6600

在校生インタビュー 「根尾コ・クリエイション」に参加する後藤良太さん（修士2年）

後藤さんはなぜIAMASに進学されたのですか？

後藤 県外の大学で勉強した4年間は、情報工学を学ぶ傍ら、コミュニティ活動に関わっていました。その経験の中から、情報技術を生かして地元岐阜について考えたいとの思いが生まれ、領域を横断した研究活動ができるIAMASに進学しました。

「根尾コ・クリエイション」での研究内容を教えてください。

後藤 本巣市根尾地区をフィールドとし、地域内外の人が交流を持ち、協働することで今後の私たちの暮らしのあり方を研究しています。その中で私は、新しい庭づくりを通じて地域コミュニティにおけるライフスタイルの研究をしています。

後藤さんは過疎地域をどう見てますか？

後藤 消費社会とは切り離された良い文化が過疎地域には残っているように思えます。その文化を捉え直すことは、まさに今後の生き方を指し示し、考えることになると思っています。

今後の目標をお聞かせください。

後藤 将来への様々な不安がある中で、今後どう生きることが出来るのかを考えられるようになることが目標です。自分のいる場所に問いや意識を持ち生活することを、地域コミュニティの空間から生み出していきたいです。

在校生インタビュー 「福祉の技術プロジェクト」に参加する篠田幸雄さん（修士2年）

篠田さんは社会人を経て入学されていますね。なぜIAMASに進学されたのですか？

篠田 自分はこれから先何をしたいのか、そんなことを考えさせるいくつかのきっかけがあり、既存メーカーではできないようなモノ作りをしたく、定年を少し早める形で退職して入学しました。

「福祉の技術プロジェクト」での研究内容を教えてください。

篠田 私は、特別支援学校の先生方の教材自作において、デジタルファブリケーション（DF）技術の適用による効果の検証と、その導入を早める方法を研究しています。

IAMASならではと言える部分はどこでしょう。

篠田 IAMASが持つDF技術を教材自作に応用できる点ですね。また、ワークショップ開催など特別支援学校の先生方とのコミュニティ作りも目指しており、モノ作りだけでないコト作りがIAMASらしいと感じています。

今後の展望をお聞かせください。

篠田 いずれDF技術が教材作りに普通に使われるようになると思っていますが、それを早める触媒となるのが私の活動です。その結果として、生徒の学習効果が上がることに少しでも繋がることを願っています。

Challenge with smile

企業間、事業間の取引をもっと簡潔に

代表取締役
豊吉 隆一郎さん

面倒な見積書や請求書の作成がオンラインでスマートにでき、発送、配信、管理ができるクラウドサービス「Misoca」を開発したのが、岐阜県出身で、株式会社Misoca代表取締役の豊吉隆一郎さんです。IT技術で業務の効率化を図る新しいサービスは、いかにして生まれたのか、また今後の夢についても語っていただきました。

「自由に生きても大丈夫なんだ」高専卒業後、フリーランスとして活動

岐阜高専を卒業して、一般企業に就職することなく、フリーランスとして仕事を始められたわけですが、高専時代のオーストラリアへの留学経験が大きく影響しているようですね。

豊吉　留学する前は、高専を出たら進学するか、どこかに就職するのが普通だと思っていました。でもオーストラリアで過ごしていると、みんながおおらかというか、のんびりしているように見えて、「ああ、こういう生き方もあるんだ。自由に生きても大丈夫なんだ」と思いました。実際、ホームステイ先でも、小さい子どもがいるのにお父さんが半年ぐらいの間に2回ぐらい転職しました。転職するのは何か怖いことのようで、極端な話、会社を辞めたら人生が終わるのではないかと思っていたので、もう少し緩やかに物事を考えてもいいのではないかと思うようになりました。

岐阜高専卒業後は、どのような仕事を始められたのですか?

豊吉　高専の最終学年の頃から、ネットショップの手伝いなどを経験する中で、これなら自分でもやっていけるかもしれないと思いました。その延長線上で、ネットオークションに出品する代行やホームページのメンテナンスなどの仕事をしていました。

ベンチャー企業の勢いを現場で体感 自分も新しいことにチャレンジしたい

そんな豊吉さんが大きく変わるきっかけになった出来事について教えてください。

豊吉　2006年頃ですが、現在は東証一部に上場しているジャパンベストレスキューシステム株式会社のウェブサイトの製作に関わったことが大きかったです。上場に向けて会社が一丸となって成績を上げようと盛り上がっている現場で仕事をして、実際に上場しました。そのときの社員さんの熱量はすごいものがありました。ベンチャー企業が飛躍する過程を目の当たりにして、自分も何か新しいことにチャレンジしたいという思いに切り替わりました。

大きな刺激を受けて、本格的に起業家マインドが芽生えたわけですが、すぐに会社設立とはいきませんでした。

豊吉　はい。ただ、今の仕事を少しずつ大きくして売り上げを伸ばすのではなく、新しいアイデアを実現する企業を立ち上げたいという方向に意識は大きく変わりました。その一方で、20代前半は仕事も順調で、同級生より収入が高い時期もあったのですが、後半になると結婚して家庭を持つ人も出始め、企業に勤めた人たちの収入も上がってきました。このまま勉強することなく、成長もしないまま進んでいったら取り返しのつかないことになるという不安も感じていました。そこで、名古屋でITの勉強会を立ち上げました。当初は共同創業者の松本と2人で立ち上げたのですが、最終的には100人ぐらいの大きなコミュニティになりました。この経験も大きかったと思います。

個人事業主時代の悩みや課題に基づいたサービスが多くの共感を得る

そして2011年に個人事業主を超えて、会社を設立しました。仕事はすぐに軌道に乗りましたか?

豊吉　いいえ、実はMisocaは、会社としては2つ目のシステムです。1つ目の事業はイベント開催の支援やオンラインでのチケット販売を手掛けたのですが、軌道に乗らず、半年ほどで断念しました。開発機能の優先度やPRの面で未熟な部分があったことや、競合サービスが次々に出てくるタイミングだったこともあり、新しいチャレンジへと気持ちを切り替えました。ただ、ユーザーの声を取り込む方法やPR手法について学ぶところも大きく、それがMisocaにつながりました。

いよいよMisocaを世の中にリリースするわけですが、どういう部分に多くの共感が得られたのでしょうか?

豊吉　見積書、納品書、請求書の作成は、私自身が個人事業主として7年ほど活動を続けてきた中で、非常に面倒だと思っていた部分です。大切なことではありますが、売り上げにつながるわけでもありませんし、1円でも間違えると取引先に迷惑がかかります。そうした自分自身の悩みや課題に基づいたサービスとして開発したのがよかったのかもしれません。当時、請求書を1通から送ってくれるというサービスは存在していませんでしたから、ないのなら、自分たちで作ろうという思いでスタートしました。

使いやすく誰もが使えるサービス 目標はMisocaを100万ユーザーに

現在、登録事業者数も9万社を超え、業界ナンバー1のシェアを誇っています。現在の状況をどう感じていますか?

豊吉　「今日は、登録者が10人超えたよ」といって喜んでいた時期も経験していますから、現在のように毎日数百事業者が登録するのは当時を振り返ると信じられないように感じられることもあります。ただ、私自身ネットサービスが好きで、よく使いますから、ユーザーの意見を反映しながら、使いやすく、誰にでも使えるサービスを提供することにこだわっています。毎日何らかのバージョンアップがされるような頻度で常に更新していますし、そうした地道な積み重ねの結果だと思っています。

最後に今後の目標について聞かせてください。

豊吉　2月から業務ソフトでナンバー1の弥生株式会社の子会社になりました。弥生は100万社以上の実績がありますから、グループ入りすることで、現状の9万ユーザーを大きく伸ばしたいです。まずはMisocaというサービスをもっと世の中に浸透させていきたいと考えています。

その先は、事業者間の取引を最適化していくことに力を入れていきたいです。見積もりをして、受注して、作業して、納品してという間には、メールや電話で連絡したり、オンラインでデータを送るなど様々なプロセスがあります。そこでは多様なツールを使いますし、異なる仕様のものを組み合わせる必要性も出てきます。その部分を、Misocaというプラットホームを使うことで、連絡ができ、保険のようなものが付いていて安心して取引ができるようになれば、仕事に集中できるのではないかというのが理想とする世界です。企業間、事業者間の取引をもっと簡潔にできるプラットホームを構築したいと考えています。

[問い合わせ]
株式会社Misoca　https://info.misoca.jp/　クラウド請求管理サービス　Misoca（ミソカ）http://www.misoca.jp/

キラリ
アクティブ
watching

おいしいをきっかけに岐阜県を知ってもらいたい

料理家・写真家　長尾明子さん

ふるさと愛にあふれた活動ネーム“minokamo”

美濃加茂市出身の長尾明子さんは、料理家・写真家として東京を拠点に活動を続けています。ご自身が代表を務める会社の名前は「株式会社みのかも」。「上京した時、友達から『美濃加茂って素敵な響きだよね』と言われました。ずっと美濃加茂で育ちましたから、客観的に考える機会もありませんでしたが、そう言われてみると、“美しい”“濃い”“加える”“茂る”。前向きな言葉が並んで、改めていいなと思いました」とのこと。地元・美濃加茂を誇りに感じる長尾さんの、ふるさと愛にあふれた感性ならではの素敵なネーミングです。

株式会社みのかも
http://minokamo.info/

写真提供＝minokamo

祖母が作ってくれた味ご飯が、おいしいの基準

料理家のきっかけになっているのは、七宗町に住んでいた今は亡き祖母との楽しくて、おいしいがいっぱい詰まった思い出です。「おばあちゃんのところに行くと、おいしいものが食べられるという思いがあって、よく遊びに出かけていました。味ご飯はよく作ってくれました。かしわ、こんにゃく、にんじん、ごぼうを入れて炊きこんで、仕上げにしょうがを入れます。食べ終わった菓子箱がいつも大事に取ってあって、その中に食べきれなかった味ご飯を入れて持たせてくれました。翌日は梅干を添えて、熱いお茶をかけて食べると、これがまたおいしい。今のように電子レンジが普及していない時代の暮らしの知恵ですね。食育という言葉がありますが、当時はおばあちゃんのところに行くと、自然に学んでいたように感じます。私のおいしい基準は、今でもその当時の記憶からきています」。

器も洗練された「美濃加茂釜めし」

長尾さんは、地域を訪ねて、地元の食材を生かした現代的にメニューを提案したり、地域の食材を生かしたレシピ提案をするなど、食を通した地域PR活動を数多く手がけています。全国各地で活躍を続けていますが、「ここ5年ほどは美濃加茂市に帰る機会が増えてきました」というように、最近はふるさと岐阜で活躍する場面が多くなってきました。

3月には美濃加茂のおいしさをたっぷり味わうことのできるバスツアーもプロデュース。果樹園見学や太田宿、木曽川散策など美濃加茂市の見どころを訪ねる旅では、長尾さんが考案した「美濃加茂釜めし」が昼食として提供されました。

「美濃太田駅には、今も駅弁売りのおじさんが健在で、これも美濃加茂市の1つの特徴です。これまで松茸釜めしを販売していたのですが、今の時代に合った釜めしを作りたいと思ったのがきっかけです。釜めしの器である釜は多治見の高田焼でした。職人さんを訪ねてみると、地元の土にこだわりを持つ、腕のよい職人さんでした。食べ終わった後も卓上皿として再活用できるデザインにして、美濃焼としての器の価値を出したいと考えました。釜めしの具材も、美濃加茂市が発祥といわれる原木椎茸をうま煮にして加えるなど、より美濃加茂らしさを強調する釜めしとして考案しました」と長尾さん。デパートでは釜めし展のようなイベントも開催されていますから、そうしたイベントにも出品する機会ができれば、おいしさと同時に美濃加茂市のことをもっと知ってもらえるという狙いも込められた新商品の開発でした。

おいしいものには人を集める力がある

長尾さんは「食でまちを元気に」をキーワードに活動を続けています。かつての大家族で暮らすスタイルは少なくなり、少人数でのライフスタイルが主流になる中で、食を通じたコミュニケーションによって、人と人がつながりやすくなると長尾さんは考えています。「各地を巡って、おいしいものをいただく機会もたくさんありますが、記憶に残るのは地元のお母さんたちが『まあ食べてってよ』と出してくれた日 常の料理だったりします。お母さんの気持ちの温かさと料理の美味しさが記憶に残り、また伺いたい気持ちに繋がります。伝統料理、郷土食というと難しく感じるかもしれませんが、手作りのご飯はやっぱりおいしいです。おいしいものには人もすぐに集まってきます。郷土食は地域で採れた季節の食材が多いですから、自然からたくさん元気をもらえますし、知恵もいっぱい詰まっています。おいしいものという共通の話題に世代の差はないですから、お年寄りから子どもまで幅広い年齢層の方にも参加してもらえると思います。そこでお年寄りは子どもから元気がもらえるし、子どもは知恵をもらえます。おいしいと思う機会が増えれば、日常もきっと楽しいことが増えると思います。私はそのお手伝いをさせていただいています」とのこと。長尾さんは、食を通じて“おいしい”“楽しい”の輪を広げる活動を続けています。

農林漁業者が農林水産物の生産だけではなく、
加工・販売まで一体的に行う

岐阜県の「6次産業化」の推進を探る。

■6次産業化とは

農林漁業者が第一次産業である農林水産物の生産を行うだけでなく、その生産物を使った加工・製造や販売を一体的、主体的に行うことです。また、観光農園のような地域資源を生かしたサービスの提供など、第二次産業や第三次産業まで踏み込んで事業化することです。

■岐阜県の取り組み（岐阜県の支援活動）

1 商品の企画や開発

国の事業を活用して、「6次産業化サポートセンター」を設置し、農業者の皆様からの新たな商品開発や製造、販売等に関する相談に対し専門家（中小企業診断士・フードコーディネーターなど）を派遣し、支援しています。

2 商品の加工や製造

6次産業化に取り組む農業者等に対して、商品開発に必要となる機械や器具などの整備について支援を行っています。

3 流通や販売（販路の開拓）

農業者の皆様から「販路の拡大」についての支援を求める声が多数寄せられたことを受けて、平成26年8月から6次産業化商品のテストマーケティング等を目的としたアンテナショップを名古屋市の「オアシス21」に開設し、6次産業化商品のPR・販売・情報発信を行っています。（平成28年5月に、リフレッシュオープンをいたしました。）

その他、金融機関と連携した商談会や百貨店での販売フェアの開催など、6次産業化商品の販路拡大に向けた支援活動を行っています。

商談会風景

百貨店での販売

6次産業化の成功事例

「かゆり柿」の製造・販売を行っている有限会社「かゆりファーム」と障がい者の就労支援施設「嘉百合園」とのコラボによるドライフルーツ開発

就労支援施設「嘉百合園」が「かゆり柿」の製造に取り組んだのは地元の柿農家から「出荷」できない富有柿を商品化できないだろうかとの相談がきっかけでした。発売当初は、販売に大変苦労しましたが、27年8月から、名古屋市にある岐阜県のアンテナショップに出品したところ、大手スーパーへの納品が決まり、販路拡大につながりました。現在、年間13，000袋を出荷するまでになり、嘉百合園の通所者の励みにもなっています。また、同園では、富有柿の新たな魅力づけを行い、全国に届けようと、日々奮闘しています。

【製造】有限会社かゆりファーム　岐阜市安食 1228 Tel:058-215-0501
【販売・お問い合わせ】嘉百合園　岐阜市則松 1-30 Tel:058-293-9085

清流の国ぎふの産直市場　豊かな自然と清流に育まれた、岐阜の新鮮な農産物や食品を紹介・販売する

『g.i.Foods（ジ・フーズ）』がリニューアルオープンしました

店内は、木目調の内装と什器類を設置し、グリーンの配色を加え「農」的な温かみのあるイメージで統一。取扱商品は、6次産業化商品に加え、飛騨牛や鮎関連商品も充実させ、「清流の国ぎふ」の特産品や、岐阜県内全蔵の地酒の紹介・販売をしています。

さらに、これまで週1回実施し、多くの消費者の皆様に好評をいただいた農産物販売も、徐々に回数を増やして、皆様のご期待に沿えるよう、スタッフ一同頑張っています。

店舗データ

店名／『g.i.Foods（ジ・フーズ）』
場所／名古屋市東区東桜1丁目11番1号 オアシス21内
電話／052・971・5539
交通／地下鉄栄駅、名鉄栄町駅、オアシスバスターミナル すぐ
時間／10:00～21:00
休み／なし（オアシス21閉館日は閉店）
駐車／アートパーク東海ほか多数

【お問い合わせ】 岐阜県農政部農産物流通課 ☎ 058-272-1111（代）　ジ・フーズ運営共同企業体：株式会社ネオパブリシティ☎ 052-955-2772（代）

PR

ネット通販で6次産業化認定商品を販売

生産者の思いを込めて作られた、こだわりの6次産業化認定商品は、生産から流通・販売まで一貫して行っており、地域の特色あふれるものばかりです。他ではお目にかかれないオリジナル商品が揃っていますので、是非、お試しください。

私どもでは、岐阜県発・6次産業化認定商品を集め、認定業者の思いや商品の特徴を紹介し、気軽に購入できるサイトを開設しました。これを活用していただき、広く流通の拡大のためにお手伝いができればと思います。サイトをご覧いただき、ご利用ください。

イメージです。

http : //6jikasanpin-gifu.com

お問い合わせ
カスガイ株式会社
岐阜市茜部中島2-52
TEL.058-274-7725
E-mail : info@dosanhonpo.com

http://6jikasanpin-gifu.com

東京岐阜県人会
～ ご案内 ～

東京岐阜県人会は、明治35年（1902年）に発足した「岐阜県郷友会」を母体とする組織であり、首都圏在住の岐阜県出身者及びその縁故の法人及び個人により構成されています。平成28年2月末現在で個人会員717名、法人会員24社が登録されています。

「ディスカバーGIFU」を通じて岐阜の再発見！

青年部会イベント
平成27年度のご報告

40代以下の新規入会促進と会員同士の交流を目的に、時流にあい多くの方が興味をもって頂けるテーマで、参加しやすいイベントの開催を目指しております。テーマは必ず〝岐阜〟に繋がり、様々な分野で活躍される岐阜県人や岐阜に縁のあるモノ、コトを通じ、岐阜の理解と新しい価値の発見を共有し、県人会でのご縁と繋がりを深めて行きたいと思います。青年部は各界で活躍される方々を出来る限り永く、継続的に応援できる仕組みや仕掛けづくりを今後の取組課題とし、本会を発展させていきたいと考えます。

第1回
平成27年5/21日(木)開催

チーズ職人・藤川真至さん（大垣市出身）と奥様でソムリエ・千鶴さん（御嵩町出身）が3年前に代々木でオープンされたチーズ専門店「チーズスタンド」。テレビや雑誌で紹介され行列のできる人気店を貸し切り、岐阜とイタリアの食文化を知るイベントを開催。

「街に出来たてのチーズを」をコンセプトに、東京都八王子市の牧場などから毎朝直送されるジャージーやホルスタイン、ブラウンスイスという3種の乳牛のミルクを混合した手作りフレッシュチーズと岐阜の野菜を使った料理に舌鼓を打ちながら、岐阜とイタリアの食文化の違い、自然、気候、風土の類似性などのお話を伺いました。特別にフレッシュチーズ作りのワークショップも開催し、チーズ作りの難しさを体験。岐阜はイタリアのピエモンテ州に似て、山と川の自然に恵まれチーズ作りに適した土地であるというお話がとても印象的で、郡上八幡でオーベルジュ（宿泊できるレストラン）をオープンすることが藤川夫妻の将来の夢目標であるとのことです。

藤川真至さん

1981年生まれ。岐阜県大垣市出身
大阪外国語大学在学中、世界を旅をする途中に、イタリアのナポリでチーズの魅力にハマったことがチーズ職人の切っ掛けとなる。
牧場に出向かないと食べられないフレッシュチーズをふらっと立ち寄れるコーヒースタンドのように、日常的なものにしたいと考え「東京の真ん中でチーズを造り、出来立てを食べてもらう」CHEESE　STAND（チーズスタンド）を渋谷にオープン

第2回
平成27年8/7日(金)開催

昨年、真打に昇進された柳家燕弥さん（岐阜市出身）と立川小談志さん（揖斐郡揖斐川町出身）による「2人会」を観賞。大学時代の同級生のお2人ならではの、終始和気あいあいとした雰囲気の中、「元犬」、「牛ほめ」など2演目ずつの巧みな話芸を思う存分味わった後、「飛騨居酒屋 蔵助」でお2人を囲んだ懇親会で昇進をお祝いし、親睦を深めました。

燕弥さんは「岐阜の縁を広げ、もっと大勢の人に落語を楽しんでほしい」、小談志さんは「岐阜でも定期的に高座を開けたら」と郷里への文化貢献の意欲を語って頂き、参加者からは「後援会を作ってはどうか?」との提案がでるなど、熱い懇親の場となりました。

立川小談志さん　柳家燕弥さん

入会のご案内

東京県人会の入会資格は、岐阜県出身者のみならず岐阜県と何らかの縁（例えば、近親者が岐阜県出身者である、岐阜県内での就学又は勤務経験がある等）があればよいというものですので、気軽に入会していただきたいと思います。会員登録は、郵送、ファクシミリ、インターネットで行うことができます。
詳細は、**東京岐阜県人会のホームページ**　**http://www.apgifu.net/information.html**をご覧下さい。

協力団体・組織

特定非営利活動法人**ぎふ・プロジェクトネットワーク**は、
多くの団体・組織の皆さまによるご支援の下、活動の輪を拡げています。

岐阜県庁	岐阜県教育委員会
岐阜県市長会	岐阜県町村会
岐阜県商工会議所連合会	岐阜県商工会連合会
日本青年会議所	岐阜県観光連盟
岐阜観光コンベンション協会	岐阜県市町村振興協会
岐阜県医師会	岐阜県歯科医師会
岐阜県薬剤師会	岐阜県信用保証協会
十六銀行	大垣共立銀行
岐阜信用金庫	関信用金庫
東濃信用金庫	大垣西濃信用金庫
岐阜商工信用組合	岐阜県弁護士会
岐阜県中小企業団体中央会	JA全農岐阜
岐阜県キャンプ場連絡協議会	岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合
FC岐阜	岐阜県の道の駅
岐阜県レクリエーション協会	東京岐阜県人会

よりよい誌面づくりのために、アンケートにご協力ください！
アンケートにお答えいただいた方に、抽選で**10名様にquoカード500円分**を**プレゼント!**

【アンケート項目】
①「GENKI! ぎふ」第3号（vol.3）をどこでご覧になられましたか
②興味を持った記事はありましたか。掲載ページでお答えください
③どのような理由で興味を持ちましたか
④興味の持てなかった記事はありましたか。掲載ページでお答えください
⑤どのような理由で興味が持てませんでしたか
⑥今後とりあげてほしい情報があればご記入ください
⑦感想をご自由にお書きください

【応募方法】
「官製はがき」か「E-Mail」にてお送りください。
・質問の○数字の後に、その答えをご記入ください。
・返信には、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別を必ずご記入ください。

■官製ハガキにてお送りいただく場合
送付先：〒502-0003　岐阜県岐阜市三田洞東1丁目20番3号
NPO法人 ぎふ・プロジェクトネットワーク　本部事務局 宛て

■E-Mailにてお送りいただく場合
送付アドレス：info@gifu42.net　まで

□応募期限：2016（平成28）年8月1日（到着分）
当選者発表は、プレゼント品の発送をもってかえさせていただきます。

※皆さまからの個人情報は、よりよい誌面づくりとプレゼント発送のためにのみ使用し、それ以外には使用をいたしません。